(第三版)

京城日報

十七日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六十五錢
廣告料

發行兼編輯人 眞田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

◎日本の希望通修正

米國政府は十六日移民法案に關し日本政府の希望通り修正す可き旨を日本政府に對し通告したりと(東京電報)

◎濰縣事件と支那の意嚮

帝國政府の訓令に基き日置駐支公使は濰縣事件に關し支那政府に對し抗議を提起せるが支那政府は濰縣事件に就ては日本側にも非行ありと爲し居れり(東京電報)

◎濰縣官革軍の妥協

濰縣に於ける官革兩軍は十六日夜妥協成立し來る二十三日革軍は入城す可し(青島特電)

◎北伐軍不日出發せん

梁啓超廣東民軍を統一す

香港來電に依れば岑春煊氏は北伐軍を指揮して不日出發すべく廣東各所の民軍は梁啓超氏の斡旋にて統一されたり(上海特電)

◎上海諸名士の聲明

南京會議に反對=段馮相容れず

上海の諸名士は孰れも南京會議に對し反對を聲明せり袁總統段祺瑞も亦政局の中心漸次馮國璋に移りつゝあるを以て獨と相容れざるに至れり(東京電報)

◎米支借欵殘部授受濟

米支借欵殘部は政府に引渡濟となれりと(東京電報)

◎北京外國銀行團の決議

支那外國銀行團は中國交通兩銀兌換停止問題に對し協同救濟に當るべき事を決議せりと(東京電報)

◎八月迄に平和克復

桑港發行のエキザミナー紙は十五日信ずべき筋より出たる報道なりとて獨墺の政治經濟狀態より推考して獨墺兩國は尠くとも八月迄に平和克復の來らんことを切望し居る旨掲載せり(桑港電報)

◎獨太子の無謀を憤怒す

ヴエルダン攻擊の失敗に就て=主謀者ハイン大將辭表を提出す

レコウ、ド、パリ紙は信頼すべき筋より得たる報道なりとて記して曰く獨軍は去る一月末に於て四大攻勢を取るべき準備を整へヴエルダンに於ける第一回の成功も亦此の計畫中に含まれたりヴエルダン攻擊の初期に於て成功したる爲獨逸皇太子は他の方面より許す限り軍需品及び豫備兵を集收したるが而も佛軍の抵抗に依て失望したる獨太子は攻擊撤回をなすべく餘りに運動を進行せしめたり之が爲目下獨逸の朝野はメジエンスに滯在する獨太子の無謀の計畫を非常に憤怒し居れり又た太子をしてヴエルダン攻擊を行なはしめたる主謀者參謀本部長フオルケンハイン大將は獨帝に辭表を提出せるも獨帝は獨逸國內の輿論攪亂の基となることを恐れ辭表を聽許せざりき(巴里電報)

◎地方長官會議

十七日午前九時より文部省修文館に於て同省所管事項に關する地方長官會議を開けり(東京電報)

◎警察部長會議

十七日午前十時より警察部長事務打合會議を開催したるが一木內相より一場の訓示ありたり(東京電報)

◎男爵議員增加

日本に於ける男爵の數年々增加の爲め男爵議員數十一名を增加し七十四名と爲す可き議起れり(東京電報)

◎預金激增す

諸取引活氣を呈し預金激增す(東京電報)

◎藤澤內務參政官

藤澤內務參政官は高麗丸にて十七日朝釜山著鐵道ホテルにて休憩の後同十時三十分發列車にて京城に向へり(釜山特電)

◎關屋學務局長

臺灣共進會に出張中なりし關屋學務局長は十六日夜對馬丸にて釜山著東萊溫泉に一泊し十七日午前十時三十分列車にて歸任の途に就けり(釜山特電)

◎總督邸晚餐會

寺內總督は十八日午後七時より元山方面より入京せる阿部築城本部長、內地より入京したる藤澤參政官兩氏を官邸に招待、晚餐の饗應あり、各部長官、局長、警務總長、軍參謀長等も列席す可し

◎鮮銀店長招待

總督官邸に於て

寺內總督は十八日午後四時より支店長會議の爲め目下入京中なる朝鮮銀行各支店長並に出張所長を官邸に招待の筈なるが勝田總裁を始め水越木村兩理事其他局長も列席す可し

◎稅關長會議(第三日)

稅關長會議第三日は前日に引續き十七日午前九時より總督府第二會議室に開會、各稅關長は勿論寺內總督以下各部長官局長、警務總長關係各課長等出席し荒井度支部長官統裁の下に直ちに日程に入り諮問事項の答申ありて正午散會したり

◎鮮銀店長會議

朝鮮銀行の店長會議は其の第三日を十七日午前十時より會議室に開會地方金融狀況報告終りし後に付前日に引續き諮問事項に對する各店長の答申あり十八日より店務に關し諸種の協議事項に移る順序なるが十九日に終了する由

◎阿部中將入京

元山方面を視察中なりし築城本部長阿部中將は木村副官を隨へ、高橋總督付武官と共に十七日午後五時二十二分南大門驛著汽車にて入京、巴城館に投宿す二泊の上十九日出發歸京の筈なりと

◎藤澤參政官

內務省參政官藤澤幾之輔氏は十七日午後九時南大門驛著汽車にて入京、朝鮮ホテルに投宿の筈なるが四五日間滯在の豫定なりと

◎關屋平井兩氏

關屋學務局長平井專賣課長は十七日朝歸京の筈なりしも途中東萊に一泊せる爲め延し十七日午後九時南大門驛著歸任すべし

◎辭令

十六日附を以て左の通り辭令ありたり

京城高等普通學校教諭 高橋亨
任大邱高等普通學校長

◎物集博士來鮮

物集高見博士は數十年間心血を注ぎて編纂に從事したる我國學界稀觀の大著廣文庫及び群書索引の出版が多額の負債の爲に一時已むなく中絕の悲運を見んとするに至りたるを鎭南浦廻漕業中村精七郎氏が大に博士に同情し巨額の金子を提供し此れに依り愈々豫約刊行の運びに至りしより過般東京に於て其披露宴を開きたるが同博士は引續き西行の途に在り十八日門司出發十九日夜入京天眞樓投宿の豫定なり

◎社寺規則と認可

昨年十月一日を以て實施されし神社寺院規則の施行以來出願者中今日までに許可されしは水原、開城、大邱、仁川、松島(木)統營、平壤の七神社並に本願寺別院(城)木瑞寺(仁)本願寺(城)大師寺(浦)曹谿寺(城)本願寺(京)京城別院(城)鎭全寺(州)開教院(城)三和寺(鎭南)華嚴寺(仁)曹洞宗兩大本山京城別院(京)本照寺(釜)護國寺(京)光寺(城)大休寺(光)金剛寺(山)智恩寺(釜山)明正寺(金山)の十七個寺にして其他は目下當局に於て調査中なるが從來神社、寺院と稱し居たるもの、中にも布教所となりしもの尠からざるを以て今後神社寺院と認めらるゝものはさしたる數には上らざる可し

◎大型汽船輸入

朝鮮在籍船增加

鎭南浦中村組所有船第五眞浦丸(五千餘噸)及び佐世保橋本氏所有信貴山丸(二千八百噸)の兩船は今回前者は米國後者は英國より買入れ眞浦丸は鎭南浦に信貴山は釜山に船籍を置くべく手續中なるが遞信局にては其の船體及び機關部等檢査の爲め小野技師富川山田兩技手を數日前より內地及び鎭南浦に出張せしめ居れるが從來朝鮮の在籍船は其の最も大なるものにして一千噸を超ゆる事多からざりしに付右兩船の入籍により噸數は激增すべしと

◎日露電線復舊

日露連絡電信線は數日前故障を來し一時不通となりしも間もなく復舊し十七日朝來浦鹽郵便局機械不良となり通信不能に歸せしも正午過ぎ全通せり

◎總監部恒例講演會

警務總監部憲兵隊司令部恒例講演會第十回を十七日午前八時總監部會議室に開催判任官以下各部高等官出席し坂東警視の衛生に關する講演ありたり

◎隊署長會議日程

本月二十日より七日間毎日午前八時より午後一時迄京畿道警務部に於て開會の管內隊署長會議日程左の如し

日次	午前	午後
二十日	管內狀況報告並に	
二十一日	諮問事項答申	同上
二十二日	指示注意事項	意見質疑希望其他
二十三日		部外講話
二十四日	打合事項	部內講話
二十五日	講評	訓示
二十六日	警察事務見學	同上

◎製作品展覽會

總督府中央試驗所にては愈來る廿八日午前九時より製作品展覽會を催すことに決定せり例年同展覽會の折には家屋の寶品一棟出品され居たるが本年は共進會に出品したる茶室樣の一室に趣向を爲したる半屋建のものゝ外に二階建一棟と都合二組の出品を爲す筈にて目下其切組最中なり尙ほ其他の出品物に就ても總て外部の注文を謝絕して製作に著手し居れり

◎私立學校教員試驗

京畿道私立學校教員檢定試驗は十六日より執行志願者十六名にして十八日終了の筈なるが受驗成績は約一週間の後發表すべしと

◎道事務分掌規定發布

道事務分掌規定改正の件は十八日府令を以て發布さる可し

◎簡易商業職員認可

京城公立簡易商業專修學校の設立は先般其筋より認可されたるも校長以下の人選に就ては未だ決定せざりしが此程現在同校に關係せる校長河合精一郎氏を校長に其他の從來職員も同樣任命されたりと

◎慶北漁業發展

內地人の漁況

慶北沿岸に於ける漁業者の多くは尙ほ內地よりの通漁者にして近時在鮮內地人の漁業發展は內地通漁中の一部に在住者を雇傭する者あるに至れると相俟ちて漸次通漁者の數を減少するの傾向あり、而して內地人漁業者中通漁者は流網、縺網、巾著網、打瀨網、手操網、釣漁業等を目的として魚群を追ひ漁期に應じて出沒去來一定ならず、隨つて漁場とする區域頗る大にして漁獲も多數に達し又た半移住者は地曳網及び定置漁業を重なるものとする故通漁者とは全然漁業の行動を異にせり近時沖合運用漁業の發展と共に新に定置漁業を出願するもの著しく增加せるも昨年中に於ける地曳網漁業は潮流の關係上漁獲高豫想に達する能はざりし、在住者の漁業は近來の發展に屬し、在住者の多くは假令不漁の場合と雖も相當の副業を有するを以て甚しき困憊を訴ふるもの少きのみならず、頭來重なる移住地に於ては漁港の修築、標識燈の建設、又は暴風雨警報信號の設備等に就き漁業上大に意を用ゆるに至り、漁業は益々發展の域に向ひ居れり

◎仁川の生産業

仁川三月中の精米業は內地米況が一高一低の振合なれば各精米所共に精搗手控へ勝に從事しつゝあり染料工場も每々繼續するが如く依然として原料高に不引合にて工場は殆んど休止の姿にて在來品の賣驟ぎに非々制限付の販賣に止まれり獨り再製鹽業は春期の大需要期に際會し戎克船の輻輳に原料鹽澤を得へ晝夜連續生産頗る旺盛なり賣行も佳良にして相場は不相變手堅く百斤一圓十錢を唱へつゝあり本月中新安州より大阪へ輸送せられし雲山金塊は二十六萬六千七百餘圓遂安金塊十三萬二千百餘圓にして前月に比し雲山分は三萬八千七百餘圓遂安分は四千八百餘圓を詭れも增加せし水産業は月末に於て多少活況を呈したるも大體に於て季候例年に比し遲れたるを以て水揚高も六千六百餘圓にして前月と伯仲す漁獲物は鰮頭鰈等の數種に過ぎざりき

◎本年の果物作

久次米支場長談

本年の果樹栽培成績に付き久次米纛島支場長の談に曰く本年は大豊作なるべく但し當年の如き栽培家の注意す可き點は間引を怠らざることなり栽培家の中には偶々之を怠る者ありて恰かも一昨年豐產の結果昨年の年切を生じたる如き例もあれば今年は必ず此點に注意して手入を怠らざるを要す、昨年は多少氣候不順なりしため或は影響なきやを懸念するものあれども之とて深く憂ふるに足らず、最近には暴風のため一地方に被害ありたると京城にては獨立門外に李果の害蟲發生したるを見れども素より全鮮の成績には何等の關係なし

春川

▲隊署長會議 江原道隊署長會議は五月二十日より五日間憲兵隊本部內に於て開催の筈なるが出席人員は分隊長十名分遣所長十名警察署長六名なりと▲在鄉軍人會開催 春川分會に於ては來る二十四日在鄉軍人春季例會を擧行すべく十二日直井分會長は評議員會を開催せり▲武術大會 江原道管下憲兵警察及び分監の武術大會は來る二十四日普通學校々庭に於て在鄉軍人會と合併擧行の筈▲畜產技手採用 獸醫稻荷孝太郎氏は今回江原道管內旋善郡畜產技手に採用され十五日午後二時春川著自動車にて來春安川道技手渡邊橋本獸醫等の出迎を受け直ちに道廳に出頭▲四國人會 春川在住の德島愛媛香川の三縣人は十四日昭陽江の勝地に於て家族的園遊會を開き一日の淸遊をなしたるが來會の主なる者は赤澤憲兵副官野上署長今井北村の實業家其他四十名にして和々盛會なりき

平壤

▲工務主任更迭 平壤郵便局工務掛長稻塚英太郎氏は元山郵便局工務掛長に轉任を命ぜられ其後任として元山郵便局詰なりし遞信技師坪井藤次郎氏五月十九日赴任すべし▲留學生に賞金 總督府に於て今回內地留學生中の左記六名に對し學術優秀操行善良なる故を以て平壤府及び平原郡廳を經て其々賞與金を授與せり

本籍平壤府留學生東京女子美術學校卒業生金顯鶴に金五圓、平壤府上臺里三九私立明治學院在學生朱顯●に金三圓、同府將別里東京高等師範學校在學生曹瑢女に金三圓、平原郡龍興面石岩里六〇の九大阪府立八尾中學校在學生李允贊に金三圓、本籍同上大阪府立野田尋常高等小學校生徒李永寶に金三圓、本籍同地東京府立工藝學校留學生金文鉉に金五圓

仁川

▲包裝檢査延期 既報の如く仁川穀物協會に於ては廻著米穀檢査包裝(叺の重量)追加規定を設け十五日より之を實行すべき筈なりしが今回鮮人側團合所其他よりの事情止むを得ざる交涉ありし爲めに來る五月二十日より確實行すべく延期の事に決定せりと▲醫生講習會 五月二十九日より六月四日迄一週間仁川警察署に於て仁川府內の醫生二十九名を召集し道警務總長より通達有りたる內規に基き必要なる學術講習會を開催すべく講師は松元署長壬生醫官廣瀬仁川病院長久木田警察醫小林藥劑師の諸氏にして講習すべき學術は

一、生理及衛生學 二、傳染病及地方病の特徵豫防法 三、消毒藥の應用 四、藥品取扱及び其他の法規 五、包帶術 六、救急法及び繃帶法 七、鍼灸術の危險療法の矯正等なりと

▲署長會議列席 仁川警察署長松元鶴熊氏は來る二十日より警務總監部に於て開會さるべき署隊長會議へ列席の爲め來る十九日上京すべし

群山

▲鮮人運動會 沃溝郡地方金融組合にては組合員の懇親と親睦を計る爲め沃溝郡玉山面龍華山麓にて十四日盛大なる運動會を催したるが組合員二百五十名中當日來場せる者約二百名之れに組合員の家族其他を合すれば當日の來集者は約六百餘名に達せり同組合は道回の成績に鑑み毎年農家の閑散季を利用し年中行事として年一回此の種の會合を催すべしと

忠州

▲通信課長巡視 矢野遞信局通信課長は事務視察の爲め二十日前後に來著の豫定なるが市街電話架設の急に迫れる忠州官民は此好機會に於て架設運動を開始せんとて協議中なりこれと共に鳥致院忠州間郵便物の自動車輸送問題も亦再燃せるものゝ如し▲重石熱冷却 堤川郡德山面月岳里に於て重石盜掘取締の晚道巡査駐在所の巡查補に危害を加へんとし反つて盜掘者は一彈の下に射殺されて以來盜掘連は大恐慌を來たし忠州の經濟界にまで微動を與へたるもの、如し殊に本月初旬忠州憲兵分隊にて故買犯を檢擧し取締を嚴にするに至りしかば買鑛者の往來全く絕ね近來價格の奔落に伴ひ重石熱は忽焉として冷却せり▲蠶種配付 忠州郡に於ける本年度桑苗植付成績は極めて良好にして副業としての養蠶は年次增率を示し本年度の蠶種掃立枚數は千三百枚にして全部配付を終れり

◎釜山陸軍支部長挨拶 陸軍運輸部釜山支部、衛支部長伊藤中佐は告別に新任支部長平木少佐は著任の挨拶の爲め十六日各官廳を共に訪問せり

人事消息

▲門田忠敏氏(商工課技師) 十八日朝平安南道へ出張
▲物集高見氏(文學博士) 十九日夜入京天眞樓に投宿の豫定
▲岡崎久次郎氏(代議士) 十七日夕刻入京同上
▲鈴木萬次郎氏(同) 十七日朝仁川へ
▲佐藤重治氏(全南第一部長) 十六日夜入京山本旅館へ
▲石田友吉氏(辯護士) 十七日出發長崎へ
▲竹山純平氏(第一銀行重役) 入京中の處十七日朝內地へ
▲早川昇策氏(朝鮮日報) 十七日朝入京天眞樓へ
▲ストクリエヂ夫人▲エバー夫人▲アールマン夫人▲パールダ夫人(以上米人) 十六日夜入京朝鮮ホテルへ

法人登記公告

瑞興地方金融組合登記事項中左ノ通改選ノ結果大正五年五月參日重任シタリ
右大正五年五月八日登記
海州地方法院瑞興支廳

法人登記公告

驪州地方金融組合監事朴…二當選シ大正五年五月拾參日就任セリ
右大正五年五月拾參日登記
京城地方法院驪州支廳

一ポートランドセメント 以上各口
一百碎
右購買ス詳細ハ五月十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一間知石其他七點
右購買ス詳細ハ五月十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

廣告

「エル、レバース」氏は今回「ミス、デイー、サルタレル」より無關係と爲られたるを以て爾今大倫銅佛人金額には何等關係無之茲に謹告致候
大正五年五月十五日
京城 エル、ロンドン

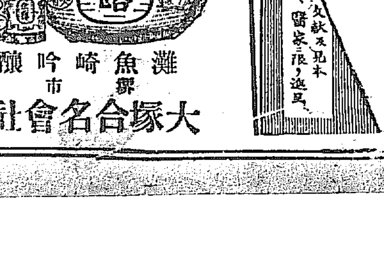
新潟縣人會

今回築城本部長阿部中將閣下の來京歡迎を兼ね新潟縣人會を開催致候間奮て御來會被下度候

▲日時 來る十九日午後六時
▲會場 南山町一丁目
▲會費 金一圓五十錢
▲申込 京城長橋通 電話二三六〇番 神谷周二
龍山元町 乘古禮藏

新潟縣人會

白檀油代用藥
ゴノサルビン
國產
優秀卓絕 價格低廉
發賣元 大阪市外中津町 三友製藥合名會社
大阪道修町 武田長兵衛
東京市本町 小西新兵衛
文献及見本醫家ニ限リ進呈



醇良清酒
灘魚崎 吟醸
大塚合名會社

□西本願寺の藤 永樂町西本願寺の藤棚は頃日眼もあやなる花盛り、古き五株の根元から來は廿餘間に餘る竹棚に咲いて、先づ京城第一の藤名所となりました。花はゆかりの色の豌豆花のやうなのが長さ二尺に餘る房と下り、また純白色のやうな花房もあれば少し紅味を帯びた眼がしさうな花瓣もあります。昨今勤行の鐘に寂たる境内にはポプラ若葉の黒蔵るあたり、ヘラ〳〵ヘラ〳〵と散り敷く風情も雪のやうである。殊に裂門そばの紫色のは房長く康翎から本堂の廊下のあたり、花瓣の大きな白藤もゆかしく、本願寺の藤棚は今がほんとに見頃です。京城に古くから居る人のはなしでは此處の藤棚はむかしから名高く、昨年は寒さの爲めに淋しかつたが今年は樂中が暖かだつた爲め花は非常に見事ですと。

◉數百の土民邦人を襲ふ
二名は重傷三名は虜となる

去る七日商取引の爲め樂安縣知縣衙門に出張し其歸途に在りたる邦人大塚彌外七名及び支那人五名は九日午前十時頃白兎郎を通過中同附近の土民約二三百名は各自銃槍及び棍棒を振つて來襲し將に暴行を加へんとしたるより一行は部落外に逃げ出で之れを避けんとしたるも土民等は尚も追撃して一行を包圍したる上亂打銃創を負はせ遂に大塚外三名の邦人は其場に於て虜となりたるも他の者等は辛うじて逃げ延び此旨臨淄縣知縣衙門に急訴し救護を求めたれば同知事は救援として直ちに馬警十六名を現場に派し前記被害の邦人四名を救ひ一先づ知縣衙門に同行したりし之れより先き臨淄派出所の憲兵上等兵も急報に依り同衙門に驅け付けたるが憲兵は知事に交渉して前記被害者の引渡を乞ひ負傷して歩行に堪へざる邦人等を擔架に乗せ淄河店に到り内重傷者二名は十二日朝淄川炭坑病院に收容したるが尚同人等の被害金品等に就ては目下取調中なりと(青島)

◉巨濤漁船を呑む
南鮮沿岸の暴風=溺死者夥し

慶北迎日郡興海面松羅洞居住漁業崔進主所有の漁船は船主崔外五人乗り込みにて去る七日午後四時頃同面龍汗洞沖合にて漁業に從事中俄然暴風吹き起りて波浪高く

▲危險は刻一刻と迫まり來るより一同必死となりて避難に努めしも遂に難破し積荷百五十圓代は波浪に浚はれ一同は漸くにして滄州面に避難し命だけ無事なるを得たり又去る七日忠南舒川郡西面都北里沿海に從漁中の黄海道安樂郡東昌里漁船主表聖武同所吳德魯同所吳喚龍同所任某群山竹城里趙大男等五名は暴風怒濤の爲めに漁船を破壊せられ乘組者中僅に趙大男一名を除くの外悉く溺死を遂げ又全羅北道畑島南方海岸には佐賀縣西與賀村徳久定三所有網船一隻破壊の爲め乘組員内地人二名鮮人一名の

▲溺死體漂着し亦畑島近海に鹿兒島縣出水郡出水村嵐巳之吉同淺吉兒島儀太郎等乘組鯨網漁業中俄然西北の暴風襲來せる爲め網を引揚げ避難せんと努めしも遂に及ばず網を放棄して竹島へ向け避難の途中激浪の爲め船を岩礁に打ち著けられ漁船は粉碎し、漁具船具共に流失したるも乘組員は竹島に游ぎ著き一命を取り留めたり其他行衛不明者多數ある見込にて群山署所屬警備船九重丸は被害地に向け捜査の爲め急行したり

◉我が漁船に發砲す
―亂暴なる支那の警備船―
―第九艇隊遭難地に出動―

十三日午前突然龍口より都督府民政部に宛て目下同地沖合にて漁撈に從事中なる邦人漁船に對し支那警察廳の警備船らしきもの發砲し我漁船は船體に損所を生じ尚他船に對しても危險の虞れあり救助警戒を求むとの電報達したるより同部にては直ちに其の旨を要港部に通じ水雷艇隊の出動を依頼したるに同部は所屬第九艇隊に命じ正午蒼鷹、鴈、雲雀の三艇を遭難地に急航せしめたるが民政部よりは法院通譯官谷信近氏及び警官數名をして實況調査の爲めに同艇に便乘せしめたり因に旅順より同地方面の出漁邦人漁夫は愛媛縣香川縣人等にて四十名位なるべく昨今は鯛漁の最盛季節なりと(大連)

◉村民大學
停車場を襲ふ

十二日午前九時頃山鐵沿線蛸蜒屯驛構内に蓄積しありたる支那人所有の高粱及び粟を奪取せんとて食に窮したる村民約二百名一時に殺到したる騒ぎに同構内取締の憲兵之を追拂ひ漸く内一名を逮捕せしが尚引續き警戒中なりと(青島特電)

◉豪雨中に家屋
倒壊す

豪雨激しき十六日午前八時頃京城西大門町二丁目李春柚方にては俄然大音響と共に長さ七間半の草葺平屋建一棟倒壊したり同家は年代を經たる古家にて柱は悉く腐蝕しゐたる由にて家人は辛うじて避難し得たりと

◉鑿と針金で窃盗
二人組の賊捕はる

佐賀縣東松浦郡唐津町字平野町生れ當時京城黄金町三丁目鮮人宿止宿池田正太郎(三一)及び福岡縣門司市内堀川町一丁目生れ當時京城水下町居住煙草職工古恵良國滿(二九)の兩名は共謀し昨年十一月九日夜家人の寢靜まりたる隙を窺ひ太平通二丁目某時計商の表口に立ち國滿は見張をなし正太郎は携へ來れる鑿を以て穴を穿ち其の穴より針金の鉤を以て陳列棚より金指環三個(二十四圓)を引き出し之れを三軒の質屋に金一圓五十錢宛に僞名して入質したるを手初めに正太郎は昨年中三箇所にて各戸共格子窓より手を差入れてマント其他數點を窃取し其都度加藤正雄と僞名して入質し國滿は昨年十二月三十一日永樂町二丁目の路上にて白米を積みある荷車を其儘曳き行きて他に賣却したる事發覺し何れも本町署の刑事に取押へられ取調べの上檢事局に送られたり

◉失策った狂言師
井戸へ飛込んで溺死

京城八判洞高永俊(六〇)は十六日正午過花洞飲食店市泰根方にて多量に飲酒したる上自宅に立歸りて更に[illegible]んとしたるを妻が制止したるが大に憤怒し自殺して終ふと狂言的に花洞の共同井戸に投身せるに水深一丈五尺ありたるため遂に溺死するに至り急報に接し鍾路署より係官醫師出張檢視の上屍體は家人へ引渡せり

◉漢江増水九尺

十六日の豪雨のため漢江は著しく増水し十七日午前九時の觀測に依れば龍山鐵橋下に於て増水九尺を示せり

◉手斧を振って
三人を斬る

全南益山郡益山面裡里居住宋成化(三三)は以前より精神に異狀を呈し居たるより家内に於ても警戒中の處十五日朝何に立腹したるか居合せたる妻を暴力を以て表に引き摺り出し在り合はせたる朝鮮大工用の手斧を以て其の頸部三分の二を斬り更に咽喉部に重傷を負はせ之れを止めんと其の場に出で來りたる其の實母某(六十)にも頭部其他に重傷を負はせたる騒ぎに急報に接し裡里憲兵分隊より憲兵數名現場に趨き犯人を取押へんとしたるに宋は益々狂ひ出し一人の憲兵を斬り付けて重傷を負はせ自分も又た負傷し怯む處を難なく憲兵に取押へられ目下裡里憲兵分隊に於て取調べを受けつゝあり

に棋込み更に本月十三日水原へ向け逃走せんとしたる所を本町署の手に取押へられたり

五月場所大相撲懸賞

五月場所大相撲は來る十八日開場に付き左の勝負豫想を募集す

(九州山	(對馬洋	(大錦	(綾川	(栃木山
(伊勢濱	(鳳	(朝潮	(大鳴門	(大蛇潟
(宇都宮	(兩國	(釋迦嶽	(岩木山	(稻葉嶽
(玉手山	(浦の濱	(石山	(紅葉川	(明

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し左の賞品を呈し但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顔合せなき時は其れを除去して計算す▲締切は五月十八日の消印あるもの▲はがきの表面には京城日報社角力懸賞係と記す事

一等	一人	銀側懐中時計	一個
二等	二人	上等反物	一反
三等	三人	上等置時計	一個
四等	十五人	上等卷煙草	一ボール宛
五等	三十人	福袋	一個宛

◉短刀で斬る

十五日午後十一時頃大分縣速見郡南端村當時釜山草梁洞矢田幸一(四一)が同地の鮮人南正五方宅前通過の際宅前に立掛ありし喪儀に誤りて觸れしを南正五は故意に衝突せるものとして怒り出し大いに罵倒せし爲め矢田も承知せず自宅より二尺餘りの短刀を持ち出し同地の派出所に同行の途中又々喧嘩を始め互に摑み合ふ中矢田の持ち居たる短刀鞘を脱し南正五の頭に二寸左右の指二本に傷を負はせし騒ぎに警官出張し兩人を引致取調中

◉外交員の横領

福岡縣小倉市島町當時京城南大門通五丁目居住土屋茂吉(三九)は同地の某運送屋外交員に雇はれ一定の給料以外に取扱高の二割の手當を受くる契約にて從業中三月二十一日貞洞の某商會より受取りたる運送料及び保險金合計四十六圓を雇主に渡さず横領消費したる爲め本町署に引致されたり

□新しい一錢銅貨

大阪造幣局で鑄造中であつた新しい一錢銅貨は漸く出來上つたので十一日十二萬枚だけ日本銀行に引渡し尚ほ十三日にも十五萬枚を日本銀行に送つた、新しい一錢銅貨は從來の一錢銅貨に比べると其の形は餘程小く厚さも大分薄くなつた一寸見ると五厘銅貨位の大きさしかない十五日から東京の市中に出たが朝鮮へも遠からず流通されて來るに違ひない未だ出廻れぬ人は珍物ではないかと餘計な心配をする者もあるさうである造幣局では一箇月百萬枚を發行する豫定で目下引續き鑄造中であるが尚ほ新五錢貨も一ケ月五十萬枚宛發行する筈である又た銀貨鑄造を見合せて五六の仲月間に百三十萬個の銀貨を鑄造する豫定だが内十錢銀貨に廿五萬個で他は總て五十錢銀貨である

◉困った下女

兵庫縣武庫郡西灘村生れの竹久たね(二九)は本年三月以降京城黄金町二丁目の某會社員方に下女奉公中四月二十三日同家の抽斗より金指輪一個(十七圓)を窃取し之を持ちて同月二十五日同家を無斷逃げ出し古市町の二見旅館に女中

◉溺屍體

去る九日午後一時頃慶北迎日郡浦項署管内下面飛得里の海岸に死後十日間を經たる溺死體漂著したるを附近の居住民が發見し其の筋に届け出でたるより所轄浦項署より警官現場に出張し檢視の上屍體は何れの何者とも判明せざるより取敢ず面長に引き渡し假埋葬に附したりと

◉新潟縣人會

京城新潟縣人會に於ては今回同縣出身の阿部榮地本部長來京を機として歡迎を兼ね來る十九日松葉亭に於て臨時縣人會を開催する由會費は二圓五十錢にて申込所は廣告欄の通りなりと

池の中の鯉が水の中で泳いだり沈んだりする、凝と水面を見詰めてゐて今度は何處に現はれるかと待つてゐるのは面白いものだ、何か這入つてゐるか見當の附かぬ箱を開くのは興味がある、飛び出して行つた人間が何處へ落ち着くか眺めてゐるのも同じ理屈だ、そこで編輯局から誰かがどこか飛び出して見ろ、豫定も無ければ計畫もない、何の向ふまゝ足の向くまゝ當途もなしに飛び歩く、何處に現はれ何をするか判らない、奇抜なものもあらう、平凡なものもあらう、其處に讀者の興味もあらうといふものだ、さて本文に入る。

十六日から降り續いた雨がだん〳〵細くなつて十七日の明方には細い細い雨になつた、その細い雨が曉の風に吹飛ばされて霧が流れるやうに横降りに降つてゐる中をフラリと飛び出した。時計の針が五時半の近邊を示してゐる、敢て

◇朝寝坊を自慢 する程のオッチョコチョイではないが五時半に起きてジタバタ騒いだのは今年になつて始めてだ況して雨の南大門を迂路々々するに於てをやだそんな事はどうでもいい、眼にも見えないやうな糠雨に傘なんか面倒臭いからネルの寝衣に羽織を引かけてお釜帽子を載せて出る

◇こんな雨に濡れるさへ肺炎になるといふけれども、そんな事を言つてゐれば、ポチや三毛やチゲ軍は皆肺炎になつてゴホン〳〵言はなければならんと思ふから平氣なものだ、大體雨の降る時に傘を差して褄端の松平伊豆といつたやうな氣取つた歩き方をするのは平凡である、電車が無いから雨できれいに洗はれた

◇南大門通りを テク〳〵歩いてゆく、人馬絡繹とか肩摩轂撃とかいふ言葉の實際を示してくれる此大通りも道が寂しいものだ、偶々出會す者があればそれは市に買出しにでも行くらしい拔目の無いやうな顔しをた人間ばかりだ、早曉の南大門通りなんてものも觀やうと思つたのだが莫迦げてるから止めようと思つて明治町の曲り角まで來ると初發らしい電車がチン〳〵と音を立てゝ走つて來た

◇朝ツぱらからチン〳〵

◇もないもんださ思つて明治町に入ると評判の植木屋が浪花館の前邊りから瀧川銃砲店の前までズラリと店を並べてゐる、雨が降るので植木屋の朝鮮人は雨の日の雛のやうに兩手を組んで軒下に佇んでゐる、物好きは僕丈かと思つたら蛇の目を翳して髭を生やした何處かで見た事のある役人らしい紳士が矢張りに漁つてる「京城朝鮮ホテル」と記した建物に似合はない

◇蠻カラな番傘 を差して和服の上に雨外套を著た人が素見してゐる、その外に大分買手が出てゐたが、中で僕の知つてる人に會つた。その人は「昨日雨が降つたのでヨボ先生山へ取りに行かなかつた人ですな、天氣の日の朝はもつと澤山出ますが今日は少ない、植木は山から失敬してくるのもあれば、買つてくるのもあるやうです」と大分通を並べる

◇松や楓や檜や深山

◇あつたがそれは皆自然木ばかりだつた、面白い石があつたので買はうと思つたら眞二つに割れてゐた。歸りには雨が歇んで雲の切目に青い空が少し見われたが直ぐに又無くなつた、僕が早起きをしたので折角の天氣が曇つたのだなどと言ふ者には言はして置け(つゞく)

十五日來の雨も霽れて滿都新綠の色は洗ひ出された如くなつた、街の中では明治町支那領事館の樹立がことに美しい▲領事館といへばあの裏門には久しい前から植木の市場が立つて居る此頃朝早く行くと散歩の長い老翁や散歩の紳士が鉢になり相なのをひねくつてゐる▲恐らく京城の街で黄金町ほど古物舗の多い通りはなからう▲重石が無くなるといふので一時客車便の轆送をやつた者が多かつた▲京城の市街は將來東にのびる趨勢を有つて居る訓練院や並木町あたりぼつ〳〵新らしい住宅が出來る▲朝顏の芽が双葉になつた、街にはまた胡瓜や茄子の苗を賣る天下はいよ〳〵夏となつた

◉訂正 十六日夕刊「保育園を訪ふ」の記事中宇佐美長官より贈られた記念樹とありしは石塚長官より贈られたるの誤に付訂正す

◉捕縄を示して恐喝 京城東大門内東部洞生れ當時住所不定の 兵補助員李東元なりと詐稱し 陽郡磻谷面梧桐里金奎熈方に泊り込 詐欺取財をなす等江原道を荒し廻り居たりしものにて遂に檢擧せられ春川 里居住の李乃洙及び高成允の兩人が發見し其の筋に届け出でたれば憲兵

天氣 くもり ▲曇一時晴 五月十八日

日出 五時二十二分 日沒 七時三十八分

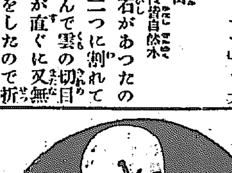
内科 小兒科 特に呼吸器胃腸腎臓病 腺病胎毒小兒眼疾 入院隨時 京城吉野町(元中の新地遊廓跡) 雨森醫院

六月號 文學士寺田精一先生監修 トモダチ 毎月一回發行 一冊十二錢 郵税五厘 六冊前金七十錢
◎幼ないお子供の好評の大繪雜誌として 附錄に面白い蛙の手工折紙を添ふ
東京麹町富士見町 二葉社 振替東京二三六三 電話番町四〇五八番

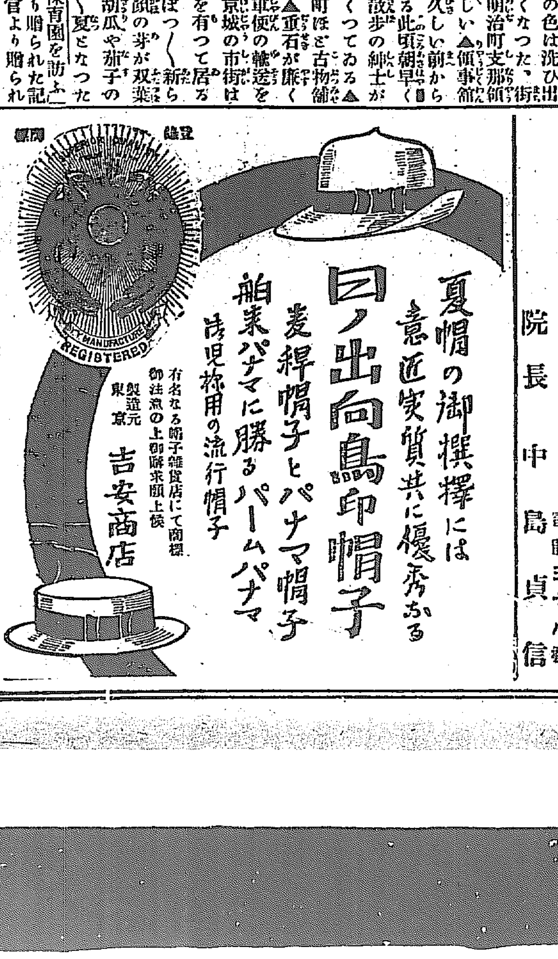
專賣特許最新式 吸入瓦斯發動機關 普通動力用。發電機專用。船舶用
▲朝鮮に於ける供給先▼

仁川岸本町	石川精米所
群山富平町	阿部製麵工場
釜山土城町	朝鮮瓦斯電氣會社
京城南大門外	待井精米所
京釜鐵道致院	岡島精米所
全羅南道下島	下島燈臺所
同 港門島	港門島燈臺所
同 鹽水港	山野精米所
京鐵道三面	龍仁金山
江原道帶川	麗豊社揚水場
平壤	楸子洞揚水場
平壤	普通洞揚水場
平壤	平壤磁器製造會社
元山新町	野本製材所
元山本町	森川鐵工所
慶尙南道統營港	麗島精米所
慶尙北道尙州郡	尙永金山
咸鏡南道永興面	永興金山
咸鏡南道定平郡	成大洞金山
黃海道長淵郡	小林樂山鑛業部
黃海道延日郡	禮成金山
平安北道新倉面	安川昌城金山
平安北道天摩面	龜城金山
忠淸北道無極面	無極金山
忠淸南道灘川面	南山里金山
鎭南浦	鎭南浦電氣會社
鎭南浦	久原製煉所
鎭南浦	齋藤精米所

大阪府西成郡鷺洲町大仁 發動機製造株式會社 社長 工學博士 黑川勇熊


外の目藥にて效なき人は試みよ スグに効ある目藥
登錄商標 直治水
主効 トラホーム やにめ はやりめ うみめ かすみめ めくさ 其他眼病諸症に特効あり (点眼器付)価十錢、廿錢
本舖 大阪 東京 丹平商會藥房 全國各藥店ニアリ

内科 小兒科 入院隨意 京城明治町(元善隣學校隣) 中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番


登録 商標
夏帽の御撰擇には意匠実質共に優秀なる 日ノ出向島印帽子
麦稈帽子とパナマ帽子
舶來パナマに勝るパームパナマ
清見格用の流行帽子
有名なる帽子雑貨店にて商標御注意の上御購求願上候
製造元 東京 吉安商店

歡迎の辭

平壤支局

云ふ迄もなく開國進取は維新中興の大題目にして民族の移植領土の擴張國運の伸開は實に我が國是也、邦家の利益民人の福祉鍾まつて悉く斯裡に存す、南方開拓すべく北方發展すべし、然かも我が大和民族の大陸經營に至つては實に是れ攻勢的防禦の第一着にして由來國際關係に於ては常に參酌的謙讓的將た苟安的退嬰的なる我日本人としても四圍の壓迫に對する自衛自保の爲め自然に驅遣せられて滿蒙を墳墓の一部とするの餘儀なきに至れる也、日本の防禦は朝鮮に於てし朝鮮の防禦は滿洲に於てし滿洲の防禦は蒙古に於てせざるべからず百千年の昔神功皇后は既に帝國の國防が關門に在らずして大同鴨綠の江畔に存するを看破し三韓の遠征は北條時宗も豐臣秀吉も行ひたり吾人は卽ち祖先の先蹤を踐行せるに過ぎざる也

滿蒙の經營は徒手空拳にて行はるべきに非ず大陸發展と軍備擴張とは至緊至密唇齒の關係を有し所謂攻勢的防禦の本領也我國の國際的地位の向上は獨り外交官の技倆に而已委する能はず武力なき外交は實力なきを思ひ滿蒙を經營し支那に對して優越なる發言權を把持せんと欲し更に貿易は國旗に從ひ兵權は商權を伴ふの理を知らば天下何人かよく軍備の擴張を拒み得べき

今や多年の懸案たりし二個師團の增設も決行せられ我が平壤亦國防第一線の要地として第卅九旅團司令部第七十七聯隊本部の衞戍を見卓越なる軍隊の創設者として各師團の華を拔き粹を聚めたる將士を迎ふ市民の欣幸何物か是れに加へん

玆に滿腔の熱誠を以て我が忠勇なる軍隊を歡迎する市民は今十八日を期し歷史上思ひ出多き牡丹臺の戰跡に於て觀宴を張り聊か以つて微意を表せんとす幾千年渝ちざる丹峰の翠頂江の碧に對して戎衣を寛ふしその閑談輕語將士の感興其れ奈何

市川旅團長と語る

「何分創設匆々の際で」と言葉も頗る叮嚀で溫容自から人をひきつける、「是れと云つて纏つた意見も有りませんが御承知の通り各師團から集まつてゐるのだから皆其れ〴〵異つた特色を有する將卒を打つて一團と爲し玆に新らしい營風を作る其の根源となるべき將校團卽ち所屬將校の軍人精神を涵養し其の團結力を鞏固にし且つ軍事上の智識を增進するを目的とせる將校團の良否は直ちに以つて軍隊の精鋭に關係する故

吾等の先づ第一に頭を痛めるのは 營風の如何

に在る」軍隊の心幹となり軍人精神及び軍紀の本源となるべき將校の訓練陶冶に關して淳々と說く處其の經綸の遠大にして識見の精透なる其の志氣の英邁にして節操の堅固なる「幸に歷史的由緒のある平壤の地は軍事上精神上實際教育の絕好資料であると共に雄豪淸高なる品性を涵養し得るのは何よりの幸で殊に國境守備でふ內地では味はれぬ氣分も加つて將卒の心も自然と緊張するで

市川旅團長

あらう、平壤は五六年前に兩三回來たこともあるが其の發展は眞に隔世も啻ならず雨中など動もすれば泥濘に足を掬はれさうな田圃道が今日

では自動車も驅る坦砥

の如き立派な街道となつてゐる想ふに諸般の文物亦是れと同樣に進捗してゐるであらう今後は益々發展して終に平壤を聯隊區とし此地で募兵する迄に內地人の增殖を切望する事實に於て今後朝鮮の移住者は軍隊を中心として著しく增加するであらう二箇年の在鮮兵營生活は地に馴れ人に親みたる兵士をして除隊後も其地で農なり商工なり其他の事業に就く者多からしめ又朝鮮に

親戚の移住 となつて知友

（腕を揮えた兵士が手引）

を見ることも尠くはあるまい、獨逸などは其著しい例證である。市民は平服を著けた兵士、兵士は軍服を著た市民、現役豫備後備より國民軍に至る迄平壤市民にして一旦緩急あらば國家の光譽と威信との裡に其の軀を拋ち平壤聯隊の名譽を顯揚するに至らんことを理想とするのである此の見解よりして機會のある每に兵士をして土地の事情に精通せしむべく現に農學校の先生に講話を依賴した、移民は百姓が最も安全で且つ容易であると思ひます」と更らに軍隊教育と社會教育との關係を說き朝鮮の移民政策に就いても亦一見識を有す、蓋し將軍の如きは戈を把り三軍を叱咤する底の武辨でなく拔山倒海の業に轉乾旋坤の籌を帷幄の裡にめぐらす卓觀の智將ではあるまいか

市川少將の兵歷

將軍は明治三年の生れにして二十一年八月士官候補生として步兵第六聯隊（名古屋）に入隊日清日露の兩役に參加し殊に日露の役には第四軍（野津軍）參謀後ち後備混成第二旅團參謀長として特勳あり佐官にして功三級金鵄勳章勳四等旭日小綬章を授けられ大正三年陸軍少將に進み第七旅團長（大阪）を經て本年四月第卅九旅團長となれる也

野島聯隊長は曰く

我が七十七聯隊は現在宮城、山形、福島、新潟、富山、金澤各師團の將卒を以て編成せられ其の一部は本年十二月除隊となり同時に第廿師團の募兵區たる第五師管（廣島）第十師管（姬路）第十二師管（小倉）第十七師管（京都）の四師管の壯丁入營し來年一杯にて下士以下は全部此の募兵區出身者となる譯也、從來の增師は經費も比較的潤澤なりし爲め凡ての點に於て都合好く運びたれど今回の創設は

▲經理上頗る苦心多し 軍隊教育に於ても北海道の如き當初一大隊を基準として漸次增員せるものなれば自然と教養も出來たれど各師團より選拔して編成されたる當聯隊に優越なる營風を涵養するは當事者として責任の重大なると共に一面興味饒からずとせず、吾輩は是迄滿洲北海道今又朝鮮と殖民地に多年勤務し來れるが前任地軍隊の素質は概ね良好にして殊に第七師團の如き最も卓越せりと思惟す這は將卒が何れも其の出身せる

▲隊の名を顯揚し汚さゞらんことを勵ると一は遠隔の地に在る爲め互に親和の情厚き等の事由も與りて大なる力あるべしと信ず故に我が七十七聯隊の如きも教育宜しきを失せざれば幸に名譽ある新設聯隊劈頭第一の創業者にして又我が帝國の國防第一線の衞に當る干城として大過なきを得べき乎、國境守備の任務に服せる爲め

▲士氣は常に緊張せるを覺ゆるも爲めに教育上支障も尠からず殊に北方分遣の兵は已むを得ずとするも聯隊所在地の平壤すら軍用地は多く貸付けある爲め教練場として狹隘を感じ最も肝要なる實彈射擊の如き殆んど不可能の狀態に在るは頗る遺憾とする所にして將來相當の施設を要すべし云々

野島聯隊長

商況

東京株式特電

十七日前場	寄付	大引
日本郵船	―	―
京城電氣	―	―
鐘淵紡績	―	―
同新	―	―
日本麥酒	―	―
東株	一三〇、〇〇	一三三、三〇
東新	一三三、〇〇	一三三、五〇
東株第二	―	―
東新第二	―	―

債券現物特電

十七日川來値段（前日との比較）

東洋拓殖	―
京城電氣	―
朝鮮銀行	―
朝鮮瓦斯	―
南滿鐵道	六四、五〇

公債直取引（特電）

十七日川來値段（前日との比較）

五分利	―
甲	―
四分	―
五分	―

深川在米特電

十七日現在高

朝鮮米	八二、二一〇
內地米	九六、一〇

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

十七日前場　七月限　[illegible]

大阪株式特電

十七日前場　寄付　[illegible]

大阪三品特電

十七日前場　[illegible]

下關期米特電

十七日前場（兩各地高崍制反發）

	寄付	大引
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]

朝鮮物產特電

釜山大豆	―
群山大豆	―
木浦大豆	―
元山大豆	―
城津大豆	―
鎭南浦大豆	―
長湖大豆	―
仁川小豆	―
平壤大豆	―
宣川大豆	―

雜報

●染料の其後 狂熱的市況を如何 頗出したる染料市場も時の力は如何ともし難く大反動的崩れを喚起せし以來日と共に市場頗る沈衰を傳へ居れり尙先行け十月の染物時期に至り新需要の勃興し來る迄は此儘[illegible]

繰返すならん

●不味の商情 [illegible]

▲下落 學せば硫化染料のブラック及靛ホエキスにして此等は高値の半額落に下押し其他アリザリン、ソルト、アニリンオイル等な初め總じて約一二割方の下落相場を示したり

●藥品ヂリ安 狂熱後の下瀉 藥品類は買氣の減退と供給の漸增とに依り益々沈靜の商情を示し相場下押歩調を辿れるが就中苛性曹達は製紙類及石鹼類の食行思はしからざる爲め著しく需要減少し市價は最高値百封度に付き二百五六十圓見當なりしもの昨今百四十圓見當に迄激落したるに此又五百十圓に下落し其他水銀は百斤六百十圓見當を往來し[illegible]酸硝酸等何れも低落せざるはなく尙目先跳返しの材料もあれば

尙當分は漸落歩調 外の なからんかの風情也

●期糸引戾す 定期絹綿は支那に於ける兌換停止と中國交通銀行の取付騷ぎに輸出絹糸に對する不安を喚び休日明けの三品市況は一度の寄限の三十圓割れな前出して意外に氣崩れせしが人氣稍々落付くと共にヂリ〳〵引返し今前場は當限百三十一圓五十錢先限五圓三十錢の止めにて如何にも底意の强固なる歩調を示し來れり

●金物類持合 鐵材洋釘類は昨日も今尙軟弱氣味を脫する能はざるも今日稍々商動き初めたると漸落歩調に傾きて此一段の下止まりの揚と成り又一時弛めし眞鍮類は[illegible]の品脆によりて以前の高値に引戾せり鐵板其後格別異雜なきより十三枚物を除く外

强含に持合 居れり

●罐詰類不味 夏季需要期を控へ居るのみならず罐類の如き輸出向品は夥しく出荷あるが何分地方の商況振はず內地向は材料だ目立ちたる手合せ行はれず[illegible]を招致し爲に市況は不振を呈しつゝあり

在荷薄 の爲め[illegible]

併し前途は需要期の切迫するに從ひ漸次手合を促すに至るべく斟酌せられ殊に相場は容器鐵葉罐が一時の暴騰期に比し八分乃至一割方低落したるより牛肉罐は五分方小安他は概ね保合の狀況也

田中金兵衛 電話一五二二番 田中金兵衛商店

●麥粉持合ふ 麥粉は既に下げ餘地無き迄に下り込みしと頃來砂糖販賣競爭の下火となれる節此上安値に突込む手筋なく此處市況は漸く落付模樣を呈して安値の儘持合ふに至れり地物取引値段として[illegible]の二圓六十七八錢當見二圓七十錢見當なり

●夏蜜柑低落 夏蜜柑は入荷の過多なると雨天の爲め不賣れなるとにより前日來の入品は何れも相當の暴落を告げたり出來値は籠物一圓三十錢伊豫物は一圓內外の見當なり本日も相當入荷多き筈なれば氣配は一層軟弱味を帶べり

下關相場

▲大豆は依然强硬 前報後フリッホ產の市二百六十叺の趨著に過ぎざるのみならず依然產地高不引合な爲に各手持筋の思惑强くして容易に手放さざる結果相場は人氣强硬を極め元山物六百五十叺許りは最上品として十四圓十錢乃至二十錢等に手合せ行はれ其他弗々の出來値は左の通り也

▲小豆は軟弱 其後北海道產一千十俵の入荷ありしのみならず頃日來の當用口の外買入手出しせずして相變らず買れ行きの鈍情なる爲め市況軟弱なり

朝鮮一等白（當用）	十三圓六十五錢
同	十三圓七十錢
同	十三圓八十錢
同二等白米（當用）	十三圓三十錢
同	十三圓四十錢
慶山大豆	十圓十錢
同	十圓二十錢
同元山産上綠立	十圓十錢
同綠立	十四圓十五錢
フリッホ大豆	十四圓十五錢
深川大豆	十圓十錢
同	十圓十五錢

各地商況

●木浦（十五日の穀物）正米共大勢はヂリ〳〵[illegible]

京城正米

なる上げ歩調の模樣せられたれ共現に角日和何等の注文入り込まず精米支米兩筋共全くの無材料にて閑散を極む原料籾も昨日來の時化模樣に一寸杜絕し資物時々地方筋より現はるゝも買氣更に動かず見送るのみなり

京城雜穀

貨物は今何は可成ありありと雖も精米筋の附け値は精米との採算上買人見送りの高値は直に勢ひ買人の[illegible]風情なれば勢ひ買人の[illegible]あり此邊更に期米の下押しを見んか正米は或程度迄期米以上の氣安を呈するやも測り難し

南大門の廻穀

各品共依然持合の姿にて商內も弗々行はれるのみなり

仁川現物市場

▲期入津なし
▲正米入津なし 氣配は依然安唱へなるも雨天續きにて商談行はれず
▲大豆入津なし

鳥山玄米	八四叺	一山白米	二五叺
水原白米	一五一叺	水原玄米	九八叺
天安玄米	二六一叺	平澤玄米	二七叺
成歡大豆	一八九叺	鳥山玄米	五六叺
平澤玄米	二〇三叺	定州籾	二七叺
平澤玄米	二八三叺	小井里籾	九五叺
平澤玄米	一八九叺	鎭南浦籾	四〇叺
錦政府籾	一四〇叺	平壤籾	二七叺
平澤玄米	二五七叺	仁川胡麻	四五叺
鳥山白米	三三一叺		

釜山穀物市場 十六日

▲正米（變らず）相變らず移出口は買注文杜絕の姿にて更に視るべき買人なく又精米口も內地正米不味にて連れ白米の賣注文なき折柄期米も前三日來頭支への商狀なれば一層先き安な氣構へ製品の外更に買氣みなき模樣にて氣配は底意軟弱の傾向にて商人も附值に引付けられたる商狀なれば相場は先づ見送り保合なり

▲大豆 捗々敷賣り物なく氣配は依然堅き保合なり

總出來高	玄米	一千四十六個
內譯	糯玄米	一千二十二個
	大豆	二十個

生魚市場

此一兩日來は季節柄として入荷の少なきうなり本日の著荷の內尤も多きは鯛にして次で鯛なり

タイ一六、アマダイ一三、サワラ一三、スズキ八、ヒラス一三、ハモ九、アナゴ八、サバ七、アジ八、モエビ一三、ニベ八、タコ七、甲イカ一〇、水イカ一二、コノシロ八、アワビ八

仁川期米

▲十七日前場 大阪前場は三十四圓九十九錢にて一錢高の入電ありしより

一節十五圓〇六錢 寄付十五圓〇六錢にて賣出來不申中十一錢と高移りにて當限六十五錢より六十錢と押し六十五錢引先十二圓〇五錢と四錢高に寄付たるも賣物多く折柄大阪八錢〇四節十四圓九十九錢と押したるも押目は買物多く無碍にも崩れず折柄大阪八節〇

十九錢と安移り 三九節〇六錢と高移り に買物圓はれ十二圓五錢と返し四節さ底強ぎ成行を示し大混戰裡に散會

▲十七日前場 前場中限⊖十一圓六十錢五錢六十錢平均値段六十三錢㊃六十四錢五錢平均値段六十五錢 [illegible]

市場零聞

▲前場底强し 大阪の引返しが受けて十二圓〇五錢と寄付たるが一面正米界の不勢を傳へ[illegible]

再び〇五錢と跳返 [illegible]

▲今能く賣る 大阪の變動に比して來りたる者の如くなるも大阪の變動に比しては此店頗る落付模樣である不勢なの ろ〻割ゐ思ひの賣物ならん今前場八九千石の大賣物を發し一面三四千石の買ありたるが市場の注目を惹いた り

▲今筋能く買ふ 久敷軍の主力たりし今筋は前日中限に向つ大に買退きたると同時に先限に向つて買建てたりとの說なりしが今前場自店より四五千石他店より少からず買建てたりとの事にて硬化したらの如し

▲りの賣 兩店共能く賣りたり一買ひたるも賣目立ちたり

▲吉の買 兩店共に買物を發し商相場を下支へたり

▲田の熱心賣 軟化したる同筋は依然賣方針にて熱心に賣り建て

行買仲買店 仁川海岸町三 電話一一二番 長九二一番 四〇二番 電略（ヨキ） 振替京城三六二番

▲仕手の移動 相場は今や探り居れり 絶時期を過ぎて天災期に推移したると種々なる事情の許に此迄仕手の移動を生じ從來の硬派たりし⊕筋は軟化し軟派たりし今筋は既に硬化するに至りたるも其他の移動多く容易に手筋に於ても今後の成行期して見るべき者あらん

▲期米前途觀 大阪の成行は每輪の如く前日の高値十五圓六十九錢より急轉十四圓九十二錢と

大暴落を演出 七十七丁の

小反しと小反しなりしが鑑しく時計も稍廻り大阪の暴落しとの事に前日の十二圓二十錢を押し一段の安値を顯はしてる

存外强硬の成行 行を示して底強く下支へ現下

賣方根底の强硬 の賣方は從來の强氣筋にて強力も到底下値に尙居る者あるにより寧ろ思惑に拘らず相場の前途は如何なる成行を示すか

▲底値と時期 內地正米は昨年來政府は米價調節の目的を以て調節[illegible]

仁川米豆取引所

十七日の七月限

前場	
寄付	十二圓〆五錢
止め	十二圓〆四錢
高値	十二圓〆五錢
安値	十一圓九十九錢
出來高	三萬八百五十石

平均値段	
一節	十二圓〆四錢
二節	十二圓丁度
三節	十二圓丁度
四節	十二圓丁度
五節	十二圓〆四錢

賣買取組高		十六日後場	前日と比較
五月限	三千五百五十石	一二、〇〇九	一安
六月限	四千五百十石	一二、〇〇六	三高
七月限	二萬九千石	一二、〇一	一安

歡迎新設聯隊 陸軍御用達 和洋菓子商 神頭大正堂 平壤本町電話三六番

歡迎新設聯隊 陸軍御用達 麵類製造業 奥村國太郎 平壤旭町

歡迎新設聯隊 陸軍御用達 淸酒三巴正宗 三巴正宗支店 平壤壽町電話五一一番

歡迎新設聯隊 陸軍御用達 井上精米部 平壤黃金町電話七四四番

魚問屋 井上商店 同 大和町電話一二三番
生魚問屋 小畑商店 同 大和町電話四二二番
生魚問屋 齋藤菊松商店 同 大和町電話四五八番
海產物問屋 中山大助商店 同 大和町電話六〇四番

歡迎新設聯隊 陸軍諸官衙御用達 各國產和洋紙文房具 早田馬市 平壤壽町電話六三〇

陸軍最御用達 平壤 宮川釀造場 醬油

歡迎新設聯隊 陸軍諸官衙御用達 朝鮮平壤壽町 ㊀商會 松下一衛 電話五一七番 電略〇一又は（一）

歡迎新設聯隊 軍帽軍服店 陸軍御用達 牛田喜三郎 平壤瑞氣通泉町角

歡迎新設聯隊 陸軍御用 銘酒黃海 中村酒造場 平壤停車場通

歡迎新設聯隊 圖書雜誌 和洋紙 文房具商 陸軍御用達 脇坂文鮮堂 朝鮮平壤南門町（電話二四番振替京城九二番） 同 脇坂文鮮堂支店 平壤大和町（電話二四三番）

歡迎新設聯隊 陸軍御用達 農產物共同販賣 平壤農業組合販賣部 平壤壽町電話五六三番

歡迎新設聯隊 陸軍諸官衙御用達 殼米雜貨 洋酒煙草 食料食器 商盛昌洋行 平壤大和町 電話三五〇四番 振替京城一四番
陸軍御用達 雜貨商 佐藤幸平 電話二〇 振替京城二六番 電略（ヤマサ）又（サ）

歡迎新設聯隊 南滿洲鐵道株式會社撫順炭特約販賣 京城三國商會代理店 陸軍御用達 平松商店 平壤本町電話長一六一番

宮本武藏

第四十一回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

瓢簞屋佐兵衛の言ふのを聞いて大藏院の内門弟が 門「江戸へ行つた東海道をお下りなすつたか、中仙道をお下りなすつたか 佐「東海道を下らうか中仙道を下らうかと言つて居たから兩道探したら分るだらう 門「そんな事は出來ぬ 佐「それから又さう言つた丹波の笹山へ行かうか播州は名所古跡の多い所だから播州見物をしやうか、それとも川口から船に乗つて金比羅樣へ參詣しやうか奈良見物にしやうか藝州の廣島へ行かうか阿波の徳島へ行かうかと言つたから其の口々を探して見たら宜しい ○「其やア知れる譯がない、仕方がない

佐「向ふぢやア渡すまいと思ふからお前に渡しちやア筋が違ふなど、容易に渡しません 武「それで何う云つた 佐「其からイヤ決して筋は違はぬ其の違はぬといふ譯は武藏先生が私の家に逗留して居らツしやる中に病つた 武「疎でもない事を言ふな…… 佐「そこで宿泊錢と藥價とが滯つたそれを勘定して見ると丁度五十貫になつた、そこで武藏先生は今日己れが勝負に行つて取つた五十貫で以て勘定するからと仰つしやつた、そこで今日武藏先生を連立て來た、すると武藏先生がお勝なすつた、其れだから取りに來た、それが何故筋が違

私が一番金子に附きますから、先生是から往きませう」といふので、其では勝負に參らうと出掛ける、佐兵衛案内をして生玉の毛利玄達の所へ來る、何うか三十六本の手裏劍の勝負をいたしたいと申し入れた、すると大藏院宮内の方からはやくも毛利玄達の所へ豫て申込んである、宮本武藏先生が宮田武助と名乘つて來て其許の所へ尋ねて來たならば、私の所へ同道して呉れるやうにと申越してあるに依つて、扨は宮本先生と思つたから鄭重に取扱ひ、早速宮内の所へ注進をする、直ぐに宮内が驅付けて見ると昨日の武藏先生でありましたから 大「誠に昨日は失禮をいたしました、武藏先生には能うこそ此度お出でゞございました」五十貫取つたのは誠に極りが惡いが、まさか亭主のせいにする譯に往かないから 武「拙者大きに酩酊をして居りまして失禮を致しました」と詫ると、旅宿屋の亭主が五十貫取つたのは知れて居るから、玄達が言ふには 玄「旅宿に居らつしては何にかに御不自由であるから私方で御宿を致しますゆへお荷物を持つて私方へ入らつしやるやうに」そこで武藏先生は荷物を旅籠屋から取寄せて毛利玄達の所へ滯在する事にいたしました、旅籠屋の亭主は詰らない、三百六十貫の賭勝負も出來ない上に大事な御客を取られて仕舞つた。

から渡す 佐「錢ぢやア私は持つて行く事が出來ないから兩替屋を呼んで換へて貰ふから待つて居なさい」と兩替屋を呼んで來て皆な四匁三分の銀玉に替へて仕舞つて、それを懷中や袖へ入れて亭主大威張でやつて來る 佐「武藏先生、今歸つて來ました 武「大層遲かつたな、どうした藝者は…… 佐「太夫も藝者も皆んな此袖へ詰めて來ました」と云つて袂からドン〳〵出します 武「何んだ是は 佐「關東にはありませんが、こちらの名物四匁三分の銀玉で 武「どうしたんだ 佐「大藏院宮内の所へ行つて掛合つて取つて來ました 武「此野郎、取りに行かれては恥になるから行つて呉れるなと言つたのに、困つた奴だな 佐「イヤ私の掛合の廻し方が巧かつたから上手にやつて來ました、些とも貴方樣の恥にはなりません 武「恥にならない……恥にならなければ其で宜しいが、併し何んと云つて來た

ふ、チツとも筋の違ふ譯はないと申しましたら到頭渡しましたが少も貴方樣のお恥にはなりますまい 武「何に恥にならぬことがあるものか、此奴宿泊錢が滯つたなどゝ言つて…… 佐「併しマア取つて來たものだから返すのも面倒で、是を持つて遊びに行きませう 武「宜しからう」といふので、それから難波新地へ行つて藝者を揚げて翌朝になつて亭主の云ふには 佐「先生大藏院宮内はタツタ五十貫でありますが、生玉の地内の毛利玄達の所へ行きますと三十六本の手裏劍を一本受ければ十貫になります から五本受ければ五十貫になります

入院隨意(診察夜九時迄)
泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病 專門
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院 電話四一九番

五月十九日九星
舊四月十八日 丙辰
本命二黒 坤 閉 先負

▲二黒 梨花の如く内に歡非有て新か見合宜し吉昭翅坤 ▲三碧 新事手控着手は吉一切の掛引なく損となるが如き事有日業の下折は吉新事手控幸運 ▲四緑 平運の日物の下折たる旅は吉新事手控着手 ▲五黄 闘り勤き斷有日新事手控樹る は吉 ▲六白 上運の日用事は吉尚散財を防がるべし 入學金件名弘求職栄達婚禮開業之始る等萬事吉 ▲七赤 開運利達の日轉居開業旅行萬事進で吉 女子の獨立藥を世ずに妙也 ▲八白 友誼篤きに生ぜんとす新事手控養子は吉貸借の出入等せぬが宜し ▲九紫 先見の當る日轉居旅行入學名弘求職金件新設海外取引藥等吉 ▲一白 許されよし 女子の事は吉女子は一層用心せらるべし

HOSPITAL FOR RUPTURED AND CRIPPLED.
DIRECTOR DR.M.MATSUOKA.
大阪北濱三丁目電車道濱側
電話本局長二八三番
外科一般 矯正外科 小兒外科
松岡病院
傷害 骨折 脱臼 畸形
院長 醫學博士 松岡道治

演藝案内

櫻井町 大正舘 電話八七三
五月十一日より特別大興行最新フヰルム提供 ○實寫 活動寫眞製造の實況 ○滑稽 亞弗利加土產 ▲米國サンサツサー會社傑作 花盛り 全二千五百呎 ▲藤澤淺二郎立花貞次郎關根達發合同一派出演 ◎新派大悲劇 黄菊白菊 全三卷三十六場 ▲高橋家の養嗣子芳樹、新橋の妓と馴染み [illegible] ◎奈西奇談 巴里の百景 全千五百呎 ◎實寫 [illegible] ▲日活派尾上松之助實川延一郎合同大撮影 ▲忠臣録 崇禪寺馬場敵討 全四卷百十四場 [illegible]

壽町 壽舘 電話二〇五〇
[illegible] 本日より [illegible] 下足料共明治 [illegible] 日午後六時開演

本町 御成座 電話二九一
三府合同歌舞伎 市川海老松大一座
十日目 前狂言 一長柄長者鶯塚 五場
切狂言 一の谷嫩軍記 一場
[illegible]

本町 壽座 電話五七八
改正義團一行 五月十七日替り [illegible] 母と子 [illegible]

黄金町四丁目 黄金舘 電話二六三七
五月十二日より差替の特別大興行 ◎實寫 伊太利ルクソルの潮水 ○寫劇 コリザンチー ◎新派活劇 變化島田 全三卷 ◎英獨海戰S一號 全三卷 ◎復讐美談舊劇 笠森お仙 全三卷 [illegible]

明治町 浪花舘 電話二二六〇番
三遊亭圓遊一行來る ○十七日より每日午後六時開演 ▲落語(三遊亭遊三)▲落語、手踊(三遊亭遊六)▲落語(三遊亭遊樂)▲落語(三遊亭遊枝)▲落語、音曲(三遊亭圓花)▲落語(三遊亭遊寶)▲落語、笑話(柱東兵衛)▲落語、音曲、手踊(三遊亭遊京)▲東京歌舞、女道樂、長唄、常盤津、手踊(東家遊蝶、遊の助)▲滑稽、人情、笑話、音曲一流ステ、コ踊(三遊亭圓遊)

愛用者の聲

美顔白粉は、品質が飛抜けて良いので大變な人氣を引き起しましたにつけ、各地の愛用者から贈られた感想を讀んで茲に御紹介致します

美顔白粉をお使ひになつて(其五)

2576.61

二五、窓ぎは
滿洲撫順市アリツカヤ 吉村美與子殿

毎もするやうに水刷毛に美顔白粉を含ませて襟足にすうと引きました。冷いと思つたのも一秒時、湯上りの肌には心よい觸感を味ひ乍ら、濃からぬ程にお化粧を濟せて、鏡と睨めつくらをする事幾秒、私はそゝられる樣な嬉しさを抱いて窓際に立ちました。心にはお向ふの美しいソーシヤさんの顏の色を思ひつゝ……。私は私の人種の黄色であるといふ事に決して失望はしませんでした、それは日本の學者の手に成つた美顔白粉で補はれると思ふので。

二六、化粧くらべ
富山縣中新川郡舟橋町 佐渡記美子殿

私の居間で物音がするので覗いて見ますと、此年十五になる妹が外の白粉で一心にお化粧してゐます、姿をかけると、姉さんに負けるものかと言つてゐます、さて附け終つてから審判官のお母樣と三人で鏡を見ると妹のは何だかさも造つた樣に、それも艶も無くムラ立つてゐるのに引替へて美顔白粉で手間もかけずに行つた私のお化粧は生れつきの色白の樣で活々した艶が滿遍なく行互つて少しも造つた跡がありません、矢張美顔白粉が好いとお母樣が言ひました。頑固な妹も到頭美顔白粉愛用の人となりました。

二七、樂しきまごゐ
東京市赤坂區青山南町 向田初枝殿

待ち兼ねた同級會の日が參りました、生温の朝湯も小言も言はずに入つてから鏡の前に坐れば、其處に映る顏は以前とは大分違つてゐます、艶が活々として肌理も美いのに思はず微笑みながら美顔水と美顔エーマーの効を思ひました態とらしくない上品な美顔白粉の化粧に晴衣も一層引立ちました、一同集つて四方山の話の内にお化粧の話が始まると、變生男子と渾名のある一人二人の外は、皆眼を輝かせて熱心に話し出しました。

二八、用ひ始め
山形縣北村山郡富並 藤 とし子殿

或會の席上の福引に「東京の言葉」といふのが私に中りました、お次といふので「東京の言葉はなまりが無い」とて美顔白粉を貰ひました。私は意味が能く分りませんでしたが、後で理科で硫化物を習つた時、白粉を附けた婦人が温泉場で顏を眞黒にした滑稽談を先生から聞きまして、始めて美顔白粉に鉛の無い事が能く解りました、其後銀山温泉で始めて美顔白粉を用ひてから安心して常に使つて居ります。

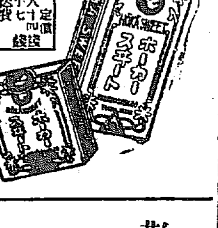
二九、感じた事
岡山縣和氣郡伊部村 村上ヤス子殿

美顔白粉はノビやノリに申分なく、實際濃くも淡くも思ひの儘に附きますから、隨つてつきそこなふといふ事が一度もなく、容易にお化粧が出來、其お化粧顔が極く自然的なのには他の白粉の及ぶ所でありません、ですから世の婦人達が一樣に美顔白粉を愛用されたならばお化粧に對する不滿不平は絶に殊に經濟せらるゝ所の尊い時間と金錢とは實に莫大なものであらうと思つてゐます。

三〇、お嫂さま
兵庫縣川邊郡中川原 細田小春殿

庭の白菊の盛りの頃嫁らしつたお嫂樣は、親切な、お優しいそれは〳〵美しい方です、わけても其お化粧榮のなさる事何うしても普通のお化粧の爲方ではありません、私は或る日到頭お嫂樣にお尋ねしました美しいお顔を斯うかしげて聽いて居らしつたお嫂樣は無言の儘莞爾なさつてつと立つて私の膝の上に載せられたのは美顔白粉の瓶です、あの光澤の優れた白さ、附著の自由、床しい香私は一度使つた時からすつかり氣に入つて成程お嫂樣のお美しいのも尤もだと思ひました。

召上がるたけ血となり肉となる滋養菓子
ホーカースヰート



定價 大 十錢 小 七錢 送料各四錢

ホーカースヰートは麥の主成分に新發見の滋養原料を加味し、更に古來有名な眞正朝鮮人蔘を應用精製してありますから、品質優良に滋養分の豐富なる事他に比類なく、味はひも亦頗る上品で常に召上れば
■咽喉を整へ、音聲を美しくし
■胃腸の調和を好くし
■心氣爽快に元氣を恢復し
■小兒の身體を強壯に致します。
到る處の和洋菓子店、食料品店、雜貨店、小間物店等に販賣す 品切の節は直接本舗へ御注文あれ 又は切手代用にて御注文を乞ふ
本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 製菓部 振替口座東京二四一一八

歡迎新設聯隊
陸軍御用達 豆腐製造業
高倉德太郎
平壤本町電話四三一番

歡迎新設聯隊
陸軍御用達 豆腐製造業
大山彦市
平壤壽町電話四二八番

歡迎新設聯隊
餅 榮屋
平壤壽町電話三六三番

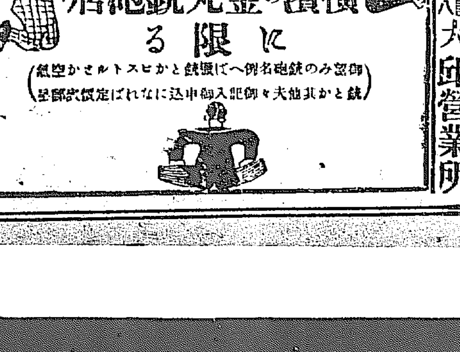
歡迎新設聯隊
陸軍御用達 パン菓子商
松尾音七
平壤旭町電話六五一番

歡迎新設聯隊
陸軍御用 諸官衙
中村寫眞舘
平壤旭町電話三九番

歡迎新設聯隊
精撰蒸汽消毒 牛乳、牛肉
平壤大和町
陸軍御用達 ㋲山田商店
電話二三一 牧場牛乳部 電略(ヤマセ) 電話一四番

歡迎新設聯隊
陸軍御用達
平壤大和町
牛肉鶏肉商 赤かべ精肉店
荒木藤吉 電話三一八番

大邱軍威義城安東間
定期乘合郵便馬車
小荷物運送代金引換
小荷物、物品委託購入荷馬車業開始
安東邑内 郵便馬車 營業所 主任 國井定次郎
錦町 電話五一八 大邱營業所



鐵砲は横濱の金丸銃砲店に限る
(御望みの銃砲名例へば銃とかピストルとか空氣銃とか其他大抵の銃砲入御申込になれば定價表御郵送)

M EP
大阪府西町四丁目 田口商店

店員 鶴田政喜 儀豫て病氣の處別府に於て療養中の處藥石効を奏せず昨十五日死去仕候間此段謹告候
追て葬儀は郷里に於て施行可仕候
五月十六日
釘本藤次郎 本店

故村谷吉藏葬送の際は遠路御會葬に預り難有厚く御禮申上候混雜中尊名伺漏有之候も難計不取敢以紙上御厚禮申上候
男 村谷正夫
親族總代 村谷勘一
田邊佐助
友人總代 高杉昇

電話一五六七番
旭町二丁目(京城府廳横)
株式會社 京城葬儀社
靈柩馬車の設備有之候
中河原重吉
井上芳太郎
電話九五七番

葬具一式
造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切
親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候
京城永樂町二丁目
大葬社 電話一〇五六番

京城日報

第三版

大阪期米特電（十七日）

十八日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 京城日報社 太平通一丁目

興味ある政戰

京城日報

世界注目の的となるべき、興味深き大政戰は、吾人の前に展開せられんとしつゝあり。吾人は來る十一月を以て執行せらるべき、米國大統領選擧は、多大の興味を以て、觀察を怠らざる也。前回の選擧に於て、民主黨が勝利を得て、二十餘年振にウキルソン氏を出したるは、民主黨が其の勢力の回復と云はんよりも、寧ろルーズヴェルト氏の進歩黨組織により、共和黨の分裂を來し、其間に乘じて、所謂蟷蚌の爭ひ、漁夫の利を占めたるの觀ありたり。而して民主黨は、久し振に政權を掌握せしも、此の四箇年間に見るに、特に治績の擧るべきなく、殊に内に在ては、内務卿ブライアン氏は、對獨通牒問題に關し、ウ氏の通牒戰は畢竟口舌の爭のみと罵り、佛然其の椅子を抛ちて去り。外にあつては、對獨、對墨、外交の面白からず、從て反對黨の攻擊に、猛烈を加へさせ、其の間に乘じて、ルート、ルーズヴェルト兩氏の握手は、實際となり、即ち共和、進歩兩黨は、一體となりて、今次の政戰に、堂々軍容を整へつゝあり。

由來米國に於ては、大統領一度選擧せらるれば、任期四箇年間は、決して交迭するなく、議會も絕對的解散なきを以て、大統領選擧より、滿期迄は、政界頗る平穩なれども、其の大統領選擧期日の切迫と共に、全國民の政治に熱狂するは、恐らく日本人の豫想の及ぶ所に非ず。而も國民の多數は、政治問題の可否を傾聽し能く之れを判斷する能力を有するが故に、選擧に際し、數多の弊風なきにしも非ざれども、此の國民多數の判斷が、即ち國民的輿論となりて、最後の勝利者を出すに至る。然り而して、來るべき選擧に於て、共和黨が、從來の例を破りて、强硬なる外交政策を標榜して、ウキルソン氏の軟弱外交を攻擊し、以て勝敗を爭はんとするは、實に未曾有の出來事と云ふべく、多大の注意に値すべし

共和黨に於ては、其の候補者として、ルーズヴェルド氏、元の國務卿ルート氏、大審院判事ヒュース氏の三人を算へ、殊にルート氏は、米國政府の外交に、三大過失ありとて、猛烈に政府の失態を攻擊しつゝあり

而もルート氏は、共和黨中、最も信望あれば、民主黨の大[illegible]はざるべからず。且つ一部有力[illegible]は、ルーズヴェルト氏を[illegible]あり。然れども米國人が、[illegible]二度大統領とすべからずて[illegible]以來の不文憲法を、破壞して迄もル氏を選擧するや否は、聊か疑問の存する處なり。共和黨は六月六日を以て市俄古市に、民主黨は同十四日を以て、聖路易に大會を開くべしと。果して然らば、此の大會に於て、米國政界の形勢は、略ぼ決定すべく、若し共和黨の天下とならば、米國將來の外交が、如何に變化し來るべきやも、亦興味ある問題たるを失はざる也。民主黨側に於ては、無論現大統領ウキルソン氏を再選すべく、果して何人が白堊館内の主人公たる可きか。觀し來れば、吾人は多大の興味を以て、十一月を迎へんとする者也。

三道隨行記

中島生

二、白楊の並樹道

○十日午前八時淸州を發して忠州に向ふ。岡田技師等の急行する爲めと且つは松木支局長等の前夜來の斡旋とにより、忠州行定期自動車は、殆んど我等一行の專用に歸し、好都合此上もなし。乍併我等が優先的に自動車を驅り行きし爲めに、他の旅客をして可惜滯留一日を延ばすに至らしめたるもあらむ。果して然らば眞に氣の毒の至り也。此日支局の田邊無聲君も亦忠州まで同行す。○淸州より忠州に至る道路は二等道路なれども、既に充分の改修を遂げある故、坦々として車行甚だ快速なり。淸州邑外十數町の間、一直線の大道、兩側には白楊の成樹鬱然として二三間每に立ち並び、潤葉生ひ茂りて輕風に動き、風致得も云はれず。此の並木道は淸州名物の一にして、自動車を以て疾驅する時佛蘭西邊りの田舍をドライブする時の心地は、正に斯くやあらむと思はれたり。忠州に到るまでの道路、兩側に樹を植ゑざるなし。但だ近時の施設に係り多くは稚樹にして淸州附近に於ける如く見事ならず。然れども數年の後には、悉く生長して十七八里の間、立派なる並木道となり、行客の眼を喜ばすに至るべし。○初夏の空は霽れ渡り、車上の風は冷かにして、清爽快適なり。麥穗既に長じて桑葉亦繁れり。潘灘陰城等に停車したる外、驅り續けて十時過には早や忠州の入口なる達川の渡頭に著す。達川は漢江の一技流にして、水量割合に多からず、然かも兩岸の風色悠々たるものあり。此河には未だ橋梁なく、小舟を以て連絡せり。扁舟に自動車を乘せ、五六の鮮人徒涉して之を押し渡る。河幅可なり廣けれども、總督巡視の便を計りて、兩岸より突堤を造り、徒涉の部分は極めて少なくせり。○岸に上りて再び車を驅れば直ちに忠州邑なり。十時半著す。支局の金谷雅城君と會し、總督の來著まで多少時間の餘裕あるを利用し、邑内各所を訪問し視察す。初めて寺内總督を迎へむとする忠州は歡喜の情溢れつゝあり。邑内は未だ曾て見ざる活氣を漲らしつゝあり。朝鮮人の童幼に至るまで手を額にして總督の來著を待ちつゝありき。

經濟寓話

野田東拓副總裁談

露國の大藏證券が問題にせられ、支那が兌換停止をするなど、これでは日本の輸出工業にも影響すると思はるゝが、御意見如何にと問へば野田副總裁は直ちに應じて

▽成程、工業か。まあ外國輸出品製造の工業は、これからは考へ物だね。尤も國内に需要する工業品は、即ち足らざるを充たすものだから、どんなに行つても可からう。

▽此の戰爭で、買手は多くして、値も高いであらうが、硬貨は呉れぬではないか。露西亞の寶買でわかつてゐるではないか。所謂掛け賣りの紙の手形ぢやないか。これでは一向役に立たぬ譯さ。

▽そこで、工業も工業であるが、我輩が主張して居る鑛物の如き、宜しく大に採掘すべし。而して之と同時に農業の改善といふことは、世界經濟上、即ち貨幣の影の薄くなつたと同時に、大に必要を感ずる譯だ。

▽果して然らば、我が東拓の如きも非常に世間の評判も惡いが、此處十年も經たならば、地價は十倍位になるかも知れぬ、又さうなることゝ心ひそかに期して居るのである。

▽我輩が戰役の有樣を豫想するに、各國間に經濟上の同盟が出來たならば、輸出輸入の過不足は何で決濟するか？是まで消耗した價の始末を付けるには硬貨の缺乏は既に業にわかつて居る。硬貨の缺乏が判明して居るとせば、結局は土地を見返りにする外はあるまい。例へば英國が擔保に出すなら或は印度日本から出すなら或は臺灣露西亞からすれば樺太といふ風に、土地を見返りにする外はないさ。それで若し決濟が出來ない時は、その代りにどうか此土地をお取り下さいといふ事になるだらう（呵々大笑す）

▽して見れば七萬町歩からの土地を持つて居る東拓の如きは堅いものではないか……

回忍月樓上小集

十六日桐の花くだつ頃夜に入りて[illegible]長崎の石橋忍月子電話を以て同好の來り會せんことを促す、乃ち山本旅館樓上に[illegible]集する者五、窓外の雨を聽きつゝ吟詠時を移して散ず

牡丹　忍月

○鶺ひの馬に及べる牡丹かな

○鵑首より鬱はす牡丹蕾移れり　島堂

○牡丹に立ち盡す土の泥染みぬ

牡丹蟻に螫さる蹄ゝ衣振へり　虎耳

○日時計の水浴るゝ牡丹開けり　平

○雨意微か牡丹明りに木履置く　句

○雀皆地に伏すや牡丹開きたり

井に飲ゐ牡丹見のつと犬連れし　目池

京日詩壇

西田白陰

○戰跡紀行

夜發南大門

笑指山河路八千。雄魂已在瀋陽天。遥一輾疾於電。崇禮門前響凜然。

評曰　豪途有此作、快意可想

安奉線途上

風遮水聲涼氣多。回頭車上翠嵯峨。山迎谷送迎還送。千里長程忙裏過。

入奉天　車中實見

知是當年百戰場。仰看塔上夕暉黃。皇軍壯烈長堪嘆。撫劍欣然入瀋陽。

評曰　氣壯語烈

弔奉天忠魂碑

一死鴻毛爲國捐。英靈三萬護皇天。吾今來弔無顏色。老淚滂沱灑墓前。

評曰　異鄕之情、感人深

弔北陵戰跡

樹影森差雲影層。劍聲響地氣稜稜。當年血暈苔生綠。一陣腥風度古陵。

評曰　叙景之中有無限之情、淒涼之氣襲人

懷奉天去會戰之事有作

千里高梁綠接雲。滿天腥氣望難分。精兵百萬賭生死。鏖殺强胡策大勳。

評曰　有怒髮衝天之槪

奉天城

大野茫々野不明。將軍堅守奉天城。丹碑猶帶當年色。髣髴鬭聲深夜生。

評曰　悲涼

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士　從五位　堀池常作
事務所　大邱府南龍岡町

日韓書房
新版報告
龍崎著　英朋畫集　うた姿　定價一圓十錢　送料十四錢
矢野龍溪著　浮城物語　定價九十錢　送料八錢
長田幹彥著　舞扇　定價九十錢　送料八錢
夏目漱石著　行人　定價一圓三十錢　送料八錢
十字屋發行　遞信地圖　朝鮮里程圖　全　定價二十錢　送料二錢
京城本町二丁目　電話一四五　振替口座二二七五

最新刊
手紙雜誌主筆　桑田春風先生著
面白き英語の手紙（附録　西洋郵便切手の話）
著者英吉利珍書更紗別染裝紙　天金製本
誇るべき五大特色
一、編纂法に據れること……二、文例の穩當にして頗る多趣味なること……三、譯語の深切明快なること……四、殊に假名を附して讀み易きこと……五、附錄として切手蒐集家等の好手引を示したること等、是れ本書の五大特色也。されば本書は啻に英語の手紙の獨習書として何人にも面白く讀まるべき有益なる快著たるのみならず、一般手紙の參考書として讀むべし
紙數四百九十頁　定價金壹圓　郵税各地八錢
東京神田　富山房　振替五〇一

海員募集
最新の航海に關する學術を教授し海員を養成す卒業者は各汽船會社へ直に就職せしむ四ケ月卒業　會費武圓四十錢　規則書進呈
東京芝愛宕町　帝國通信航海學校

女學世界增刊　五月十日發行　定價廿三錢
我儘娘の一生

婦人への一大警鐘
▲天を仰ぎ惜死した人……紫陽花
▲恩を忘れた其の末路……淺妻丹
▲人の妹みを受けた娘……夜破茶子
▲堅い家庭の贈り物……信鴻花
▲危く逝れた厄難……月花草
▲嫌はれた娘の見合ひ……小幸相
女の受くる誘惑に就て諸家の意見
▲自重心のない女の運命……中川高師校長
▲十八九からが危險期なり……宮尾學士　女史
▲容貌の美さ誘惑の手……三輪田文學士
▲墮落は艶姉に多い……吉岡醫學女史
▲一生の浮沈は容貌の美醜……大學生女史
▲一藝あるものゝ德……下田文學士
■克己修養と我儘……中島博士　道德
△沙漠の悲劇……金子塔
△朝鮮史話　烈女物語……水瀬抱水
■女の幸運は天の惡戲……小貝直子
▲山籠道中（小說）……東山京子
▲一人旅（小說）……小野美智子
▲娘の秘訣……舞扇
▲近所の交際……若き妻
▲二萬組の媒酌をした話
■事實奇譚　惡因緣（死事件）……磯千鳥
▲姉妹の對
東京本町　博文館

謹告
一保險金五百圓也
右は故本莊じやう儀蓬莱生命保險相互會社と契約致居候處今般死去候に付頭書の金額同社金泉代理店橋坂申一氏を經て受領仕候間此段契約者各位に謹告仕候也
大正五年五月拾日
忠淸北道永同郡黃澗
保險金受取人　本莊幸平

京城高等普通學校教諭　阪上綱吉先生著
朝鮮諸官廳受驗者必讀
法律講義
本書は法學通論、憲法、行政法、刑法、民法の五篇より成る、著者多年受驗者の爲に特別講義せられし案を敷衍し之に通俗的類似題を付したるなど其法理の闡明微細に涉り懇切周到行文簡明直に採て以て好答案たると同時に獨習者の良師友たるべし　登龍門裡に入らんとする者は施し各節に法理圖解と最近試驗問題の解說を及必讀を要すん
菊判二百六十餘頁　特價七十五錢　送料八錢
大阪屋號　京城（發賣）大阪屋號　大阪　大阪屋號出版部

教育畫報　新幼年
佐々木吉三郎先生賛助　○森田但山畫伯主筆　○每月一回發行
◎六月號出來◎本號には西鄕銅像の折紙附錄あり
一冊金十二錢　送料五厘
六冊分前金共送料金六十九錢
東京市本所區東兩國　新幼年社　振替東京五八〇二三

法學博士今井嘉幸先生著
民法學通論
新刊　民法は吾人日常の經典也　著者嘗て支那に遊び久しく民法專門の講壇に名を馳す本書は即ち其經驗に基きて成れる斯學の新案を立て章句の末節に拘泥せず直に立法の大精神に著眼し而かも獨特の考を有したるインシチユーションたり說明の順序に獨特の考を加へ所謂簡にして要を得たるもの學者實務家並に學生諸士の座右に備へて恰伴と爲すに最も適す。
民法全編を七百餘頁に收めて其一斑にも一部にも
菊判全一冊上製金武圓八拾錢　並製金武圓五拾錢　送料内地十二錢　鮮支四十錢
東京神田　有斐閣　振替東京三七〇四

國産アサヒビール

▲賣切御禮廣告
愈々初夏の候各位益々御淸祥之段奉慶賀候
扨而弊社國産サツポロ、アサヒ、エビス三會社合同後滿十週年記念景品附大賣出し開始以來江湖諸彥の御後援により註文雲集殆んど白熱に達し期日二週前の今日折角多數の御申込に對し乍遺憾締切斷行の已むべからざる空前の盛況を呈し候段全く愛飮家各位の深厚なる御同情の賜と感荷の至りに不堪難有御禮申上候
尙は此上ながら益々國産ビールに御同情御愛飮の程伏而奉願上候
追而抽籤の義は來る七月一日午前十時より京城商業會議所に於て警官新聞記者各特約店主立會の上公明正大に執行仕候間御了承被下度候
五月十七日
大日本麥酒株式會社京城出張所

國産サツポロビール

◎滌縣開城協定調印

滌縣來電＝官革兩軍間に滌縣開城の議纏り革命黨側と官軍側此の間に十五日調印せり尙開城期は準備の都合上調印期より一週間猶豫の筈なり（北京來電）

◎兌換要求と嘆願

奉天中國、交通銀行兩支店にて兌換を停止せざる結果十五日來日本人にして兌換を要求するもの多く爲めに十六日馬交渉使は我總領事館を訪ひ此際可成日人の兌換を要求せざる樣盡力あらん事を嘆願せしより十七日日本人商業會議所總會を開き支那側の要求に應じ援助を與ふる事に決議せり（奉天特電）

◎孫派革黨員の活動

滿洲に入り込める孫一派の革命黨員は昨今遼西地方を根據として活動し居れり張將軍と衝突せし第二十八師長馮麟閣は今に奉天に出で來らず形勢穩かならず（大連特電）

◎王鴻年日本を誣ふ

山東省濟南の現狀視察に赴きたる北京外交部員王鴻年は數日前歸京し日本が革命黨を援助し居るは事實なりと報告せり（北京特電）

◎曹錕軍引上と電請

四川北軍總司令曹錕より四川は目下北軍を容るゝの餘地なきより引上たるが歸路湖北を過ぐるは危險なるを以て陝西を通過すべく中央政府に之れが許可を電請し來れり（北京特電）

◎非公式協約適用

移民法案と委員會＝法案中削除

華盛頓來電に曰く米國上院移民法案委員會は日本移民に對しては全然現行の非公式協約を適用する事とし移民法案中日本の反感を買へる部分を削除せり右の變更は日本を滿足せしむべしと解せらる（紐育電報）

◎樞府會議內容

十七日は樞密院會議定例日なるを以て芳川副議長以下各顧問官は午前九時より登院宮中東溜間に於て御諮詢案工場法施行令に付き會議を開き來る六月一日より施行すべき工場法の適用範圍從業者の疾病保護其他の諸件に就て議し政府より河野農相高橋法制局長官出席して說明應答の末委員附託に決し十一時半散會したるが當日陛下には芳川副議長の奏請にて出御議事の模樣を親しく聞し召されたる由拜承す（東京電報）

◎警察部長會議

全國警察部長會議は十七日午前十時內務省に於て開會新妻大阪警察部長外全國各警察部長出席一木內相、湯淺地方局長、警視廳石原主事以下各部長出席一木內相より一場の訓示演說あり終つて會議に移り左の諸問題に就き審議する所あり午後四時散會せり（東京特電）

一、風俗に關する秘密出版物其の他物品の販賣取締りに關する件

一、刑事政策に關する件

一、質屋取締に關する件

一、古物商取締に關する件

◎上院議員歐露視察團行程

貴族院議員歐露視察團一行は來る八月十四日午後九時東京驛發敦賀を經て露國義勇艦隊汽船に搭乘し十七日浦鹽港著同日午後八時西伯利亞鐵道にて露都に向ひ二十六日午前十時露都著九月十二日迄露都及び莫斯科に滯在し十三日莫斯科發二十二日午後長春著二十三日吉林に向ひ二十四日四平街二十五日鄭家屯に到り二十九日大連著十月一日旅順二日撫順三日奉天を視察し五日京城に出で六日同地發歸京の途に就く事に決定せり（東京特電）

◎露軍敵前衞地を占領

コモスル地方に於ける露軍はシワンダッツの市街に侵入し敵の前[illegible]

◎滿銀設立請願

奉天商業會議所主催となり滿洲各會議所及び實業家と連絡して滿洲銀行設立請願書を近く經濟調査會に提出のことゝ爲りたり（奉天特電）

◎陸大學生見學

河合陸軍大學校長以下敎官引率の陸軍大學生は十六日旅順戰跡見學の筈なりしも風雨の爲め見合せ十七日其の全部を見學し十八日旅順發沿線各地視察の途に就くべし（大連特電）

◎小松原井上兩氏

小松原英太郎氏井上正金銀行頭取は靑島より西京丸にて十七日午後門司著同夜東上の筈（門司特電）

◎海事法規の共通

早晚實現されむ

朝鮮にては各種の海事法規制定せられ一昨年六月一日より實施しつゝあるも尙ほ內地の海事法規とは揆を一にせざるもの少なからず卽ち內地の海員免狀を所持する者は朝鮮にて相當の海員資格を認め居れど朝鮮總督府の海員免狀所持者は內地に於て其の資格を認定せざる等の關係ある如き其の一例なり如斯片務的の關係は朝鮮にとり不便不利少なからざるに付遞信當局者は母國との間に海事法規を共通せしむるの必要を認めつゝある次第なるも[illegible]府の主[illegible]間に[illegible]は內鮮間に於ける[illegible]遠からず實現せらるべしと

◎重石競願の處理

趙重應子談

鑛山會社設立に就いて疾くに發起人にも加へあるとかにて相談に出席を求め來りしが自分は病中なる上斯る會社設立には贊同の意なきを以て出席もせず斷りたり、元來自分は重石出願にも意なかりしが伊藤統監以來の友人に勸められ舊友の爲めに共同せし迄にて會社の發企人たり重役たるが如き考へは毛頭なし、古城山口氏等も來訪して頻りに勸められしも斷然お斷りし置きたり予は同計畫は發起者の心事は兎も角結局資本家が利益を壟斷し地位を作くる事となり一般出願者殊に朝鮮人としては僅かな利益を受くるに至る者と思ひ居れり其許可如何は勿論當局の御詮議に由ることで吾々の齧念は要せぬが自分の友人等には贊同するものなかるべし自分の考へでは重複し居る一鑛區丈けの競願者が共同して經營すると言ふ事が一番公平に簡便に有利なる事と思ふ故願くは此事を實現したき希望なり

◎見學的視察に努めむ

十年前の朝鮮鐵道＝車窓から見た拓殖事業＝中央政海の近況＝現內閣と豫算案＝政友會の新思潮＝支那問題と當局

內務省參政官　藤澤幾之輔氏談

內務省參政官藤澤幾之輔氏は別項所載の如く十七日午後九時南大門驛著汽車にて入京せり、途中出迎の記者に語つて曰く、予が朝鮮を訪へるは之れが二度目なり、第一回は明治三十九年にて代議士の戰後視察團と共に渡滿の途、當地を通過せしが當時予は是非とも朝鮮及び滿洲は之れを我が領土たらしめざる可からざるを感せしと共に、そを實現せしむるには此度こそ絕好の機會なるを思へり、其後幾何ならずして朝鮮は併合せられ、滿洲亦利權を收むるを得たり、予の立場は昔しと違へど

▲希望の實現　せられしは何處までも滿足に堪へず、殊に十年以前の朝鮮は頗る貧弱なるものにて鐵道の如きも平壤、新義州間の列車は一個の汽罐車と一臺の無蓋貨車のみ運轉し、予等は傘を翳して貨車に乘りしが、今日にては世界的交通幹線と目せられ萬般の施設些の遺憾なきのみならず、鮮內の鐵道總延數一千哩を算すと聞く其の進步洵に驚く可し

▲百般の事物　亦當時に比せば悉く斯の相違ある可く予の如きは今回が初めての渡鮮といふも可なるべけれど、嘗て一度見舞へる地と何等の見聞なき人士に比せば議會に於ても多少の便利を得たる事ありたる次第にて今度は出來得る限り見學的視察に努むる考へなり但し目下は直行中にて何等語る可き材料をも有せざれど列車中より眺めて最も予の感興を惹けるは畓田の意外に多きことなり、十年以前に在ても耕地の多きは豫想外なりしが、東拓會社の如き移民の事業遲々たるに拘らず殊に

▲朝鮮の拓殖　は北海道抔とは其の趣きを異にし鮮人を指導の傍ら開拓しつゝあるは洵に異數とするに足る可し、又沿道の山岳は今日に在りても尙ほ坊主たるを免れざるも植績を擧げ居れるは何に拘らず既に隨所に樹立を見天然生の稚樹亦格別侵害の受くることなく能く生育せる模樣なるには驚かされたり、却說目下の中央政海は極めて無事なり[illegible]は事實なるも之が爲[illegible]を來し現內閣に動搖を招くが如き[illegible]は斷じてあること無し。近來政黨の風潮を見るに政友會抔は從來大會[illegible]に於て發表し來りたる宣言、決議は甚だ空漠[illegible]進步は遂に國民に[illegible]曖昧模糊たるを許さず國民の信賴を繫がんとせば、主義を樹て政策を發表して社會の指導に盡すと共に亦汎く

▲國民の批判　を求め切磋琢磨以て國政の進步を計らざる可からずとの議論少壯黨員中に强唱せられ漸次勢力を得つゝあるは國家の爲め喜ぶ可き現象にして政黨の一進步と稱す可く同志會の如きは疾くより一定の主義政綱を樹立し、之れを天下に發表して着々國政上に實現しつゝあり。尙ほ支那に對する政府の方針は勿論確定し之れに向つて寸時も處置を怠ることなきも今や直ちに双方を交戰團體と認むるや否やは予の與らざりし所なれば明言する事を得ず。されど若し交戰團體たるに至らば我當局は帝國の安寧と東洋の平和を確保する上に於て適宜の行動を採るに躊躇せざる可し

◎大阪たより

大阪支局にて　青眉生

[illegible]くは當然の理なる可きか▲攝津紡績プレミヤム附新株七萬の內七萬は重役が最低プレミヤムで取[illegible]

[illegible]個の水量を利用しつゝあるに如何に大湖の水量豐富とは云へ新たに二千個の水量引用は水面低下の惡影響[illegible]

▲關西地方九州方面の貿易茶は手揉みを特色とせしに近來三重奈良山城滋賀の茶に機械揉の痕跡あり、手揉[illegible]

[illegible]スミス氏の飛行術は既報の如[illegible]大騷擾を惹起せり、契約通りの時刻に出場して愚民暴動の蠻に立ち投石[illegible]を心外に感ずるものなり、往年燒討事件以來群衆何かと云へばかゝる騷ぎを起すの慣となれり、[illegible]警察側は[illegible]十七日夜來の[illegible]な（十四日夜大阪支局にて）

◎商議定期總會

京城商業會議所定期總會は十七日午後二時半より開會す當日は西村副會頭外十五名の出席を見たれども提出事項が前年度の決算と云ふ平凡なる問題丈に頗る氣乘せぬらしく開會初頭より議場は倦氣滿々たり會頭不在につき西村副會頭議長席に著き開會を宣し直ちに大正四年度會議所經費收入支出五千二百九十九圓三十三錢を議題とすと述べ大村書記長より一應說明を爲し質問に移る、質問者は天日、釘本、古城氏等三三の人々のみにて調査費の內容とか財產目錄の當座預金の立替金と云ふが如き事項にて平凡裡に應答を續け居る間に天日氏より「本年度豫算の認可に就て多少當局との間に意思の疎隔にてもあるにあらざるか差支なくば當席にて說明を乞ふ」と質問あり古城氏も之に贊成して議長に迫れば西村議長は皮肉に笑ひ乍ら「問題外なり强て聞く必要あらば書記長室に出掛けられたし」とて沈默させ最早質問もなしと認むる故閉會すべしと宣告して三時半散會したり

◎藤澤參政官入京

內務省參政官藤澤幾之輔氏は十七日朝連絡船にて釜山に上陸、直ちに京釜線列車に搭乘し同日午後九時南大門驛著入京朝鮮ホテルに入れり、氏は二日間滯京の上元山、平壤、仁川、鎭南浦、新義州等を視察し其れより滿洲に赴く筈にて旅行期間は約二週間なるも旅程は未だ確定せず、[illegible]

岡崎久次郎氏は[illegible]務局長等の一行と同列車にて十七日午後九時南大門驛著入京、天眞樓に投宿せり四五日滯在の上歸京す可し

◎關屋平井兩氏歸任

臺灣[illegible]勸業共進會並に[illegible]の爲め渡臺したる關屋學務局長、平井事業課長の一行は十七日朝東萊を發し午後九時南大門驛著汽車にて歸任したり

◎松村後援會幹事東上

來る二十三日東京に於て開催さるべき帝國軍人後援會通常總會並に二十三日より五日間開催の同幹事會に出席の爲め朝鮮支會幹事松村定治氏を派遣することゝなり同氏は十七日夜南大門驛發東上せり

◎阿部支店長視察

鮮銀平壤支店長阿部秀太郎氏は店長會議終了後約二十日間南北滿洲各地並に靑島に於ける經濟狀況を視察する由なるが歸來更に平安南北黃海三道の各主要鑛山を巡廻する筈なりと

◎委員辭任の理由を宣明す

鑛山會社創立に就て

小林藤右衞門「寄」

朝鮮鑛山株式會社創立に關し當初の計畫者たりし余が創立委員を辭任し斡旋の地位に立つを回避したる事態に對し恰も突然の出來事なるが如く思惟し余の出處進退を疑ひ多少の物議を惹起しつゝあるものゝ如く委員山口氏の如きは昨日の京日紙上に於て極力余を非難し「自己の高潔を維持せんとし他を不利の地に陷れ最初の思惑が外れたる腹癒を爲さんとするものなり」とて激語し自家一腔の不平を漏らし以て世人の注意を喚起し動もすれば會社の成立如何に關する重大責任を擧げて余一人の頭上に轉嫁せんと試みたる如き特に圓滿と老鍊さを以て聲望ある山口氏より此言を聞くは余に取りて驚異すべき凌辱なり余不肖と雖も常に正義の觀念を以て事に終始するもの今者自家名譽の爲め將た立場の爲めにも默視するに忍びざるなり乃ち該會社創立に對し從來余の把持したる愚見を告白し併せて委員辭任の理由を宣明せんとす伏て冀くは大方諸賢幸に余の心事を諒とし誤解と疑團を氷釋せらるゝあらば欣幸也

一、四月一日鑛業令實施と共に水鉛及び「タングステン」鑛々業者か鑛業權を出願するや同一鑛區に對し多きは三十有餘名に達し少なきも三五名を下らず此競願者は概ね鑛業令第九條「同日に願書到達したるときは適當と認むるものに許可す」との明文に依りて當局の決裁に待つの外あるべからざるに推移し當局の苦心實に想像に堪へたるあり之れに加ふるに「タングステン」需用の劇增と價格の騰貴は主として歐洲大戰の影響と觀測し得べく事業の著手は努めて急速を要し一日も忽諸に附すべからざるものあり於是乎出願人を中心とし會社を組織し總ての紛爭と煩累を一掃し簡易なる手續の下に該鑛業權を獲得し其利益に均霑せんとは所謂當面時急の問題なりとの意見を懷抱するものありて現に在鮮鑛業家として重望ある津田鍛雄氏の如き會社論者の急先鋒となり之れが意見を公表し益々其の勢力を促進したり當[illegible]社の創立に關し深き思慮を[illegible]テン」鑛業の如き比[illegible]資本を要せず[illegible]ある事業なれば當[illegible]を排し[illegible]たる鑛業上經驗あり功勞あり今日に[illegible]吾人と利害關係を同うする出願者にも許可するを斯業の奬勵及び促進上最も適當なるを確信し只管此が實行を期待し汎然たる會社組織に對しては反對意見を固持しつゝありしは余の[illegible]偏く知る事實なりとす

二、[illegible]しく鑛業家として朝鮮の鑛業に[illegible]せられたる竹下康之氏亦た來會し[illegible]田氏の提言に係る「タングステン」會社創立に關し意見を交換し

一、組織せらるべき「タングステン」鑛業會社は從來朝鮮に於ける鑛業家にして四月一日該鑛業權出願者を發起人とし其の範圍は小鑛業家となすの制限を付する事

二、會社の經營すべき鑛區は第一條に明記したる資格に適合する出願者を打つて一團と爲し代表者を選定し其の人の名義を以て鑛業權の許可を受け之を會社に提供する事

三、會社の定款資本金株式分配並に創立に關する事項は發起人の選定したる委員に一任し具體的のものとなす事（未完）

人事消息

▲鈴木萬次郎氏（愛國生命保險會社々長）　十八日午前八時卅分南大門發列車にて退京の豫定

▲釘本藤次郎氏（實業家）　十八日朝奉天經由の途に上る往復五日間の豫定

▲櫻井小一郎氏（仁川稅關長）　十七日夜入京巴城館へ

■南言北語■

獨逸のヴェルダン攻擊も大分ボロを出しかけた▲彼れ丈けの大損害を被つて其の割に成功しないでは誰れでも腹は立てる▲其の立つた腹が破裂すると愈々ヤケッ腹となつて壓服されて居る反動で跳ね返す▲跳ね返さすまいとすれば餘計に跳ね返さうとする▲戰爭も最後の五分間が近くなつたらしいが獨逸も大分影が薄くなりかけた▲其れにしても馬耳塞に上陸した露西亞の兵は何處へ行つた▲北國の神雷では海に心細い▲戰爭の初めにも露西亞兵が英國へ向つたと傳へられて▲何所から行くのだらうと大分問題になつたが後で聞くと斯うだ▲露西亞の雞卵を大分送つたと云ふ電報符牒中ロシアンスとあつたから直ぐ兵隊だと間違へて露兵來ると歡喜びをやつたものだ▲今度はまさか鷄卵ではあるまいからキミ／＼やつて貰ひたいね▲實際今一息だからナア▲一弱國を提げて奮然一片の武士道に殉じた塞爾維は今やコルフの旅館中に其の全國を形造つて居る相な▲內閣は據れたテーブル一個首相の室の戶には「療養者御宿」と書てあり▲種々の辭令を出す室には「料理番への御用はベル一ッ女中への御用はベル二ッ押して下さい」と書てある▲陸相の室の隅々には今は滅んで了つた聯隊の旗が散らばつて亡國の恨を語つて居る相な▲聞く丈けでも氣の毒で同情の淚がこぼれる事程左樣に益々悶逃は惡くなる

◎大禮映寫盛況

[illegible]

[illegible]

黃金町二ノ六〇　國[illegible]　女子用書籍▼料理●手藝●[illegible]●習字帳●活花●[illegible]　453

大田（大田座前）[illegible]に郵送す　石原米藏　455

●店員入用　年齡十七八前後市內に保證人を要す當人來談あれ　京城本町一　大阪屋號書店　450

●古本なら野村　買入誠實御報參上　京城本町一丁目（明治町角）電二六三六番　野村書店　142

古本無比高價買入　勉强是非御試賣を乞ふ御報卽刻參上　京城本町四　電話二七八一番　群書堂　199

●キヤラメルは京城藤商會の人蔘キヤラメルに限る　滋養に富む　413

昆蟲及植物採集用具特價販賣　京城壽町四〇　電話二二七六　回天堂敎育品部　421

松葉堂新雜誌廻讀會　新古本の貸本●特色　買受交換割引　京城本町一　電話一三七八　430

番外　恩給年金で金融希望の方へ低利　▲當分五年迄卽時立替　京城永樂町一丁目　商品陳列館裏門前　江州屋本店　456

●地方支店長及外交員募集　希望者履歷書携帶來談　地方希望者は返信料封入照會あれ　京城　大阪債券株式會社朝鮮總代理店　並河合名會社朝鮮總取扱店　454

集金人　外交員入用　一名龍山出張所長及び確實なる人を求む　面談午前十二時迄　本町四丁目四十五番地杏林堂藥店橫　雜誌スヌメ京城支社　448

▲讓店　市內本町屈指の場所　將來益々發展の望ある藥店　最老舖　歸國に付至急讓る　希望者は照會あれ（姓名在社）　451

轉居　京城府大和町一丁目四一番地　中島安邦　796

東京中川式　魔法マッチ　御小賣　懷中電燈　電池の强力他製品と比較を乞ふ　黃金町二九　電話八八九　口座京城壹弐壹九　川合時計店　186

恩給年金類　長期低利立換　短期保險不要　市內土地擔保低利金融す　京城南大門外（舊御成町）　山口屋　190

玄米麴化率先者にて於東京釀友會關東酒類大會一等賞受領　細菌學應用　純粹糖化の賜物あり絕對無効力　玄米乳　京城新町　乳製所　414　藤二七八七

鑛山用機械類並探鑛用具　マグネット新荷著　京城南大門外　電話二九四〇番　京僧商會　417

分拆鑛物各種（正確迅速）　京城太平町二の二三〇　朝陽分拆所　424

●南山町三丁目消防詰所前に轉居　產婆　マッサージ　電話一四〇番　三浦小糸　427

恩給年金類立替　京城本町二（京城銀行橫小路）　吉田屋　437

物品購買公告

一、編袋　三千個

此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上

右ニ附シ購買ス供給請負希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ入札心得書、仕樣書等熟覽ノ上本月二十一日十時限リ同會計係ニ入札スベシ

[illegible]六日　京城府

[illegible]賀縣人に告ぐ

來る二十八日（日曜）漢陽公園に於て鍋島直映侯歡迎園遊會相催候間未入會の同縣出身の方は此際至急御入會を乞ふ

申込所　佐賀縣鄕友會　幹事　山遊勇輔

●移轉廣告

今般舊治療所狹隘の爲左記に移轉仕り尙從前通り診療に從事可仕候間此段御披露申上候　謹言

京城本町三丁目十三番地（南治療所向ひ洋館）　電話二九二番

齒科醫學士　橋本清次郎　橋本齒科醫院

滿蒙處分論　露國大本營クロパトキン將軍原著　定價金一圓　京城日報代理部　振替口座京城三〇〇番

支局　出張所　長募集

補缺の爲め臨時募集す希望者は京城本町四丁目の支局又は本舖に來談あれ書面の照會は謝絕す

大阪市西區立賣堀　日本一藥舖本舖

新刊書御案內

書名	著者	定價
●朝鮮總督府巡査受驗提要	永野清	特一、四五
●朝鮮總督府普通文官受驗必要法律講義	阪上鋼吉	特一、七五
●官公立學校教科適用作文軌範	安達大壽	一、四〇
●同　かち／＼山	黑瀨	一七
●朝鮮風俗集	今村鞆	一、八〇
●朝鮮より	官原鞆利	一、五五
●ことばの林	大町桂月	特一、八〇
●書簡文大辭典	大町桂月	特一、八〇
●西洋通史	瀨川博士	四、八〇
●支那	中山成太郎	二、五〇
●滿洲寫眞帖	大阪屋號	特一、〇〇
●エムデンの奮戰	ミュッケ大尉	七五
●漢和大辭典	三省堂	三、〇〇
●新獨逸	尾原亮太郎	二、〇〇
●無線電信電話	鳥潟右一	三、五〇
●稅制問題	社會政策學會	一、二〇
●埃及美術史	石山徹郎	一、五〇
●由井正雪	長編講談	三〇
●自動艇	生島莊二	三、〇〇
●民法學通論	今井博士	二、八〇
●禪宗辭典	山田・孝道	四、五〇
●日本百科大辭典	第七卷	一〇、〇〇
●新々英和辭典	神田乃武	一、〇〇
●カイゼルの裏面	宮家壽男譯	九〇
●歌の作り方	金子薰園	四八
●黑田如水傳	金子子爵	二、八〇

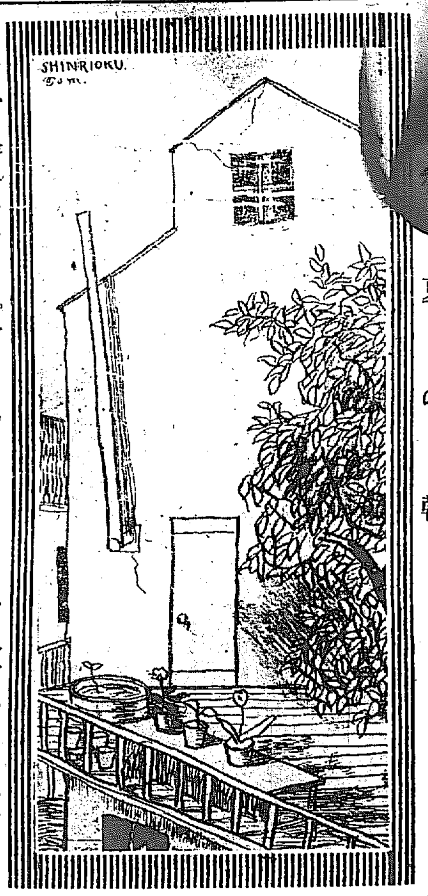
大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三

却々行……兵の激烈なる追擊に會しつゝあり（倫敦電報）

新會社……の不安に對し却獨立……資として既設會社の增資に人氣の趨……都市電と宇治川電氣と合せて三千餘……の政友會員なるに對し同志會一派の……敵本主義より起れる企畫と聞く

▲十四日大阪市岡中學の廣場に催し……樂部の準備手段に手落のありし事は……確かなり。何にせよかゝる野蠻的行……小說の影響は飛んだ處迄及ぶものか……極む（釜山特電）

夏の朝



交戰國を巡り來て 獨飛行機を射落した將校と語る

―營林廠技師― 今川唯市氏談

佛蘭西は其の國古く文化爛熟の極に達し數代の間奢侈の生活を續けて來たる其の國民は漸次惰弱に赴き亡滅に向つて急ぎつゝありと云ふ人もあるけれども却々事實は然樣ではなくして頗る愛國心に富み淡泊にして機敏なる敬愛すべき國民で有ると感じた、殊に吾々

日本人に對して

は淺からざる同情を以て接して吳れ其の友情は今も忘れる事の能きないものが多くある、歐羅巴諸國の眼の如く美しく輝いて居ると云はれた不夜城の巴里も此の頃は飛行機の來襲を恐れて街燈は悉く消され室内の燈火も皆な黑布を上に蔽うて輝く不夜城の都は名ばかり夜分になると隨分暗い淋しい昔の京城などと同じ樣な市街と爲る然し戰爭らしい氣分は露國や英國、伊太利よりも

佛蘭西に於て

最もよく發揮されて居る若い者は素より老人も子供も女も皆な軍國の民であると云ふ緊張した氣分を持つてキビ／＼とした働き振を示して居るこれから見て今度の戰爭は何んだか佛蘭西と獨逸ばかりで戰つて居つて他の敵味方の與國は付け祭にワイワイと騷いで居る樣な感じがする飛行機も時々來襲するが今では多く城外で擊退される佛國側の方の飛行機も絕えず飛翔して

敵機の來襲を

警戒して居る私が巴里とナンシーとの間レーブニーと云ふ處を汽車に乘つて通つた時の事でした恰度眞夜中に近い頃一人の佛蘭西將校が酒に醉つたのか眞赤の顏をして肩を怒らせて突然私の手を捕つて打ち振る、餘りに興奮して居ると見ゐて直ぐには言葉も出來なかつた私は何にか此の將校は誤解して私を橫つて喧嘩でも賣掛けに來たのだと思つて徐ろに何んの爲めに玆に來たかと聞いて見ると

其の將校の云ふ

のに我兄弟の日本人よ聞いて吳れ我々は今夜此の驛の直ぐ近い處で獨逸の飛行機を擊ち落した愉快で／＼堪らないと云ふのであつたそれから其の將校はポケットから金屬の塊まりを出して之れを見て吳れ之れが敵の人間と一緒に燃ゑ落ちた飛行機の破片だと見せた上記念の爲めにと私にも其の中の一部を拶つて吳れた。それから私はナンシーに著いたナンシーは

有名な農林大學

の在る處であるからそれを觀に行つたのでした玆は佛獨軍の相接して居る戰線に最も近い處であつて銃砲の響きは手に取る樣に聞ゐる時もある或朝まだ夜の明け切らぬ頃恐ろしい響きと震動とに襲はれた自分の宿つて居る家に大砲の彈が當つたのだナと驚いて起きて見ると幸ひさうでは無くして宿の門口から七十米突ばかり距れた街上で獨逸の飛行機から

投下した爆彈

が破裂したのであつた其の附近の道路や家は煙硝で眞黑に汚れて居たが幸ひ通行人が一人死んだ丈けで未明だけに被害は極めて少なかつた、ナンシーは彼のオルレアンの乙女ジャンダークの出生地であつて偉大なる少女の銅像は馬上から獨軍を睨んで突立つて居る（つゞく）

◎伊達家珍什 落札者 落札高百餘萬圓

十六日午前九時より行はれたる伊達家の珍什入札は十七日午前二時に至りて漸く終了したるが開票の結果主なる落札者左の如し

馬遠周茂叔愛蓮 五萬六千圓（土橋嘉兵衛氏の名義にて坂本金彌氏の手に入る）

牧溪朝陽東叟元愷贊 五萬五千圓（林新助氏の手に入る）

青磁東福寺香爐 五萬一千圓（山中氏の名義にて藤田平太郎男の手に入る）

梁楷普化 豐太公より政宗公拜領 三萬五千百圓（川部利吉氏の手に入る）

砂張淡路屋角花入 信長公傳來今井宗叢添狀 三萬三千五百圓（植村平兵衛氏の手に入る）

名物此世香爐 三萬圓（戶田彌七氏の名義にて藤田平太郎男の手に入る）

元信眞山水 三萬圓（林新助氏の名義にて九州の伊藤傳右衛門氏の手に入る）

祐勢周茂叔愛蓮 二萬八千八百八十九圓（木山氏の手に入る）

平目地近江八景蒔繪十種香箱皆具 二萬六千圓（春海敏氏の名義にて大阪の野村氏の手に入る）

貫之寸松庵色紙「秋かせの」 二萬二千圓（春海敏氏の手に入る）

染付辻堂香合 二萬一千圓（林新助氏の手に入る）

常信外狩野家畫鑑帖 二萬圓（今井貞次郎氏の手に入る）

梨子地菊唐草雪輪御紋散蒔繪御厨子黑棚小道具皆具 一萬九千圓（服部七兵衛氏の名義にて三井八郎次郎男の手に入る）

名物古瀬戶肩衝茶入 一萬六千圓（戶田彌七氏の手に入る）

因陀羅寒山拾得二幅對卽庵贊 一萬三千圓（中村作次郎氏の手に入る）

名物瀬戶拙忍肩衝茶入 一萬二千百圓（戶田彌七氏の手に入る）

張芳汝牧童二幅對 一萬一千六百圓（中村作次郎氏の手に入る）

常信中孔明左楠公右曾我兄弟三幅對 林家贊、一萬三百圓（春海敏氏の手に入る）

因に總落札高は一百五萬四百六十五圓にして最少額は太鼓の五圓なり（東京特電）

◎大相撲五月場所初日取組

東京大相撲五月場所は既報の如く愈々十八日國技館に於て初日を出すことに決定したるが其取組左の如し（東京特電）

逆鉾（四海波）朝綠（玉の川）
紅葉川（稻の穗）敷島（土州山）
大の川（稻葉嶽）近江富士
寒玉子（黑瀬川）柏戶
龍ケ崎（梅川）宮城山（小常陸）
鶴渡り（玉手山）大鳴門（石山）
宇都宮（栃木山）綾川
浦の濱（千年川）眞砂石
兩國（對馬洋
大蛇潟（鳴門洋
九州山（釋迦ケ嶽
朝潮（伊勢の濱
（大錦（岩木山（西の海
金の花（太刀山（八甲山

◎十八日の初日は動かす

幕內力士連は十七日午前七時回向院に會合し來る二十七日（十日目）は海軍記念日に相當し同日水交社に於て興行の爲め一日の休場を爲すは一般力士の元氣を殺ぐ虞れあり依つて初日延期方を協會に申出でたるに協會にては斷然之れを拒絕し豫定の如く十八日初日を出すことに決定別電の如く取組を發表せり（東京特電）

◎警察犬逃走兵を嗅ぎ出す

步兵四十七聯隊第一中隊二等卒西多吉（二三）が去る十三日夜十時十分脫營逃走したるより小倉憲兵隊にては直に坂田伍長警察犬を連れて先づ聯隊に至りしに某班長誤つて西の戰友某の手拭を嗅がせしに犬は營內をぐる／＼廻りて柵外に出で某の跡のみを慕ふ故班長もそれと氣付き西の腹掛を嗅がせしに犬は一目散に營所東北部の垣を飛び越ゑ工作場を通り石田より下石田に進みたるがこの時既に逃走兵西は曾根村驛附近にて搜索別動隊のため捕へられたりとの報ありし故其の儘引返したるが聞く所によれば逃走の道順は犬の進みし通りなりしと（門司）

◎萬引下女捕はる

香川縣三豐郡常盤村生れ當時京城若草町居住田井ゆきの（十七）は太平町二丁目飲食店中村某方に下女として雇はれ居る中主家の金員一圓を窃取し其後旭町一丁目の出湯にて入浴中なる田村某女の三圓四十七錢入の蟇口一個を窃取したる外本町二丁目九一吳服店にて上等反物一反（十五圓）を萬引する等到る所にて稼ぎ廻り居りしが終に本町署に檢擧され五月十五日京城地方法院にて懲役八箇月の處分を受けたり

相撲 豫想締切

五月場所大相撲勝負豫想投書端書は十八日中の消印あるものにて締切とす

◎朝鮮產柳皮の需要

朝鮮皮革株式會社は昨年來露國皮革軍需品製作の爲め柳皮を多量に消費しつつあり然るに朝鮮には各地に柳木の山林を見るに拘らず柳皮として賣出すもの少く同會社の需要數量の幾分をも充すに足らざる狀態にあり價格は一貫目約十錢にて同會社は多少に拘らず買入るべしと但だ搬出に際しては雨水に濡るゝ事を嫌ふものなるを以て此點に注意を要すと

◎新西蘭火災保險

ニュージーランド火災保險會社京城支社の[illegible]東京支社の[illegible]鮮部が何れも歐洲戰亂の爲め出征し缺員を生じたるにより印…[illegible]芳太郞氏は當地を引上げ東京支社の重要なる地位を占むる事となり[illegible]日夜出發せり[illegible]二回位東京より出張し來る筈なるも[illegible]代理店として從來の通り事務に當るべしと

◎札幌麥酒京城賣捌

サッポロ、アサヒビール京城賣捌は初日以來需要家の好評を博して注文日每激增の[illegible]を示し締切期日を餘すこと猶二週日の今日賣切となれり

◎岡崎坂口兩氏歡迎會

岐阜縣選出代議士岡崎久次郎氏及び坂口掛三兩氏の入京を機とし同縣人は十九日午後六時三十分より京城ホテルに於て兩氏の歡迎會を催すに付出席希望者は當日迄に京城圖書館に申込まるべく會費は金二圓五十錢なりと

◎益々奮ふ西方 聯合稽古 太刀山寒玉大鳴に喰はれ滑稽

西軍聯合稽古の三日目は高砂部屋で催した主人の朝潮は本場所を控へて首の負傷を自重して接待役を務めて居る、明取り設備の完成した新築の稽古場は氣持が好い其處に太刀凰伊勢、大鳴門、浦ノ濱、眞砂石、黑瀬川等西軍の將士が

▲隆々たる鐵腕 を撫し乍ら揉みに揉みて稽古を勵む、衝突合ひが一順濟むと西軍の驍將で此場の立役たる大鳴門が「一挺々々」と馴々たる伊勢を引張り出して戰ひを挑む。化粧立が四五回、鳴門の聲で立上るや一合してカッキと右四つに取組だ互に揉合ふ事二三秒にして伊勢が呼吸を測つて寄身に廻らうとする作戰に出つるを鳴門はシタリと堪へ機を見て下手投を打つと見事に極つて

▲流石の伊勢も 筋斗打つて雞倒され殘念さうに引退る、此光景を打見た御大太刀山「豪く强いナア」と立上るを鳴門は待つて居たと云はん滑りに懸命と仕切て突捲り太刀ヨロ／＼として苦もなく踏切る、鳴門は皆を顧みて嬉し相に「五つか六つ突いた許りだ」と得意がる、太刀も笑ひ乍ら「俺は待つたを懸けようと思つたのだ」と云ふ、鳴門は「彼を待つたは甚いナア……其ではモウ一挺」と突懸る今度は太刀ビクともせず胸を突出して好い具合にあしらひてハタキ込む、三番目は突出し四番目は太刀も鳴門の突きをあしらひ兼ねて危く土俵を割らうとした六番の申合せが濟むと鶴渡りが飛出して太刀と相撲ふ右四つ鶴は吊身に寄るを太刀が機を見て些つと振ると

▲鶴は蛙の樣に 潰れる、今度は寒玉君が飛出して太刀を吊ると見せて上手投を打つと太刀は故意に地響打つて土俵の眞中に倒れる、寒玉君は有頂天になつて「エ、手だらう」と吹聽に及び更に凰を引出して同體に倒れる見物人が「七分三分」と叫ぶと寒玉は「俺の方が七分」と肩で風を切つて意張り此處寒太君兩橫綱を倒して得意の體だ、二番目は寒玉が突懸る處を凰がヒョイと肩を透すと

▲寒玉室を突て 四ん這ひ、三番目には凰を突出した寒玉君いよ／＼悅に入り太鼓腹を撫して「ドンナもんだい」と猫が茶を吹く樣な滑稽な顏で見得を切る續いて千葉ケ崎が鳴戶洋を倒し更に鶴渡りを撤り紅葉川と申合ふ例に依つて紅葉川は素早く突懸けて勝を制す、大汐は紅葉を倒し更に清瀬と組んで得意の二本差で强引にきめ出し暫時は新進力士が入亂れも激しく衝突り合つた（京來）

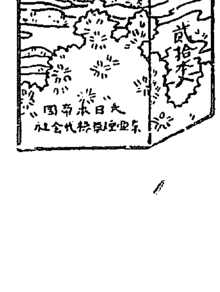
五月二十日より 夏衣賣出し
六月一日より 浴衣地陳列會
京城 三越吳服店

歡迎新設聯隊
歐米雜貨商
㊇八洲國屋商店
本店 平壤府巡營里電話百五十二番
支店 平壤大和町電話七百二十五番

歡迎新設聯隊
平壤通關組合（いろは順）
㊂內國通運株式會社出張所
㊅大和組運送店
ヌ小林運送店
Ⓐ青木組出張所

歡迎新設聯隊
平壤醫師會
本町 稻葉病院（いろは順）
壽町 石川病院
幸町 橋詰醫院
大和町 平壤醫院
旭町 桃蹊病院
同町 吉田醫院
鐵道構內 中村醫院
大和町 藤本病院
壽町 好生堂病院
道廳通 齊藤病院

歡迎新設聯隊
東亞煙草平壤分工場
軍神乃木大將愛喫した逸品



歡迎新設聯隊
土木建築請負業
平壤泉町（道廳前）
淀川商會
電話六四一番

歡迎新設聯隊
朝鮮銀行 平壤支店
電話一一番

歡迎新設聯隊
高等新形各種製靴
平壤大和町
岩野商店
電話五一四番

軍隊歡迎々々
履物は……きまゝや號に限り
ますこは買つた總ての人の評判です
最新流行萬御履物御小賣
㊉きまゝや號
平壤大和町人力車停留場前

千生瓢 (215)

須藤南翠作　筒井年峰畫

長湫 (十六)

追騎の急に馳せ迫るを見て、穂積山城守、同苗與八、岡本彦三郎等二十七騎、孰れも馬首を回らして之を支へ、殊死して戰ふのであつた。

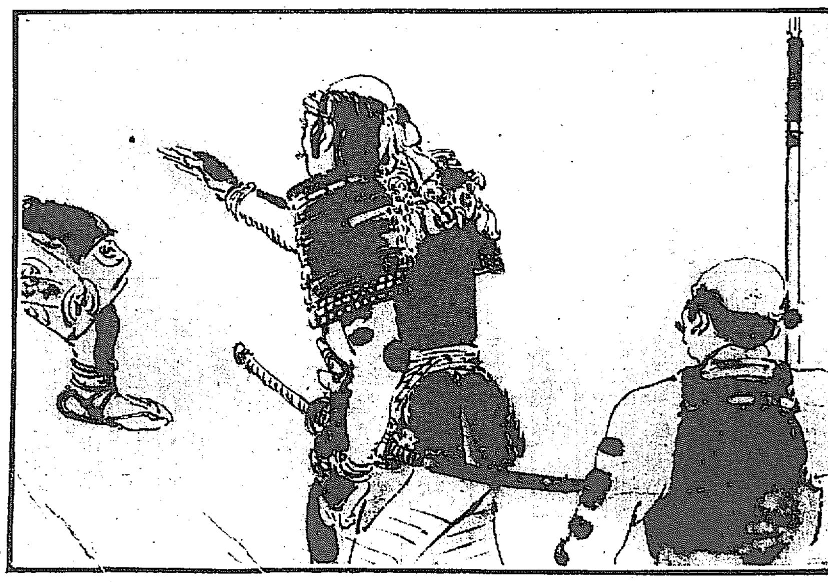
久世三四郎廣宣は支ふる敵を蹴散らして秀次を追んとすれど「穂積、岡本立塞つて進ませず、萬字巴と乘り廻して驅け合せて戰ふので、見す見す秀次を落したる殘念さ、口惜さ、今は相手を擇ぶに及ばず當るを幸ひ突き立て薙ぎ立て、六十騎が槍尖揃へて縱橫無盡に衝擊する。此方はもはや一人の生て還る望みなく、此處を死處と心を決して、一人なりとも敵を打つて、屍の香を留めんと思へば、突けども薙げども怯めばこそ、踏ん込み〳〵死戰して、二十七騎が一騎になるまで、一歩も退ず勇を奮ひ終に最後の一人まで、皆潔よく討死した。

此忠死に間を得て、秀次は鞭鐙を合はせて馳する程に、風を切つて飛來たつた一丸、忽ちに乘馬に中つて一聲高く嘶くとともに、足に立つて打仆れた。秀次は馬とともに地に倒れたが、金剛大夫に扶けられて、漸く身を起し、今は歩行立になつて逃る處に、馬に白泡吹かせながら、唯一騎驅け著ける味方があつた。秀次目敏く之を見つけて、

「いかに可兒才藏、其馬余に參らせよ」とつか〳〵と進み寄る。

才藏馬上に目禮したが、劇しく兜を左右に掉つて、

「此馬を參らせ申せば、君を救ひ參らする事叶ひ申しませぬ。逃る騎馬武者の馬を徴されて、疾く打たせられい」と言ひ捨て、敵を目がけて一散に驅け向つた。



秀次今は力及ばず、續いて逃る味方もやと顧みても、夫ぞと思ふ人影なく、馬には離れ、家來には別れ、唯一人の金剛大夫を力に恃むで、敵なき小徑を求めながら、道芝の露踏み分けつゝ、覺束なくも落ちて行くうら寂しさ、朝日に落す吾が影もあはれと眺めやるのであつた。

木下勘解由、同く助左衛門は、狼狽へ騷ぐ味方の勢を勵して、防戰に努力してゐたが、鐵砲の者を指揮して、烈しく敵をうち拂つてゐた稻富喜內先づ殪れ、白井備後守は、水野の先手を突き崩して、藤十郎勝成と槍を合せ、一上一下と突き合つたが、踏み込む足の木の根に躓き、挨地と轉び倒るゝ處を、勝成得たりさ附け入つて、只一槍に突き伏せる。村瀬右衛門は、敵の大將岡部彌次郎長盛と渡り合ひ、終に長盛に切り倒されて、防禦の備へば無二無三に斬り崩され、勝に乘ずる敵の兵、早くも本陣に闖み入つた。

今は秀次が身の心許なく、一方を切り拔けて引つ返して見るに、何者か御供して、既に落し參らせた後であつたが、肝腎な旗指物を、地にうち倒して落ち去つたのは、亂軍の際とはいへ、餘りに心なき仕方である。

南米倉町朝市場通仁濟病院跡
上野 內科外科 花柳病醫院
電話二九三四番
(入院隨時)

兩人は斯う考へたので、旗を取つて地にさし建て、兩人こゝに踏み止まつて、一歩も去らず防戰し、枕を並べて討死したのは、流石に恥を知る勇士であつた。

後陣に控へた長谷川藤五郎秀一も崩れかゝる本陣に揉み立てられて、備へ立つる間もなく、總崩れとなつて潰走し、瞬く間に本陣、後陣は八方へ散亂し、殘るは槍、鐵砲、刀劍の武器と、盡忠の勇士が香しき屍とのみであつた。

先陣に在つた池田信輝入道勝入齋は、更に此敗軍の事を知るに及ばなかつた。第二陣に控へた堀久太郎秀政も、檜が峰に在つて兵粮を行ひながら、遙の後方に當つて燬砲の音を聞き、素破や敵は秀次の本陣に打ちかゝつたよと思ふ處へ、長谷川秀一の急使が來て、敵不意に本陣に攻めかゝり、秀次敗軍に及んだと知らせて來た。さてはと上帶を引締る處へ秀次が番頭田中久兵衛馳せ著けて、其敗狀を詳らかにしたので、秀政は久兵衛を池田の陣へ使者に立て、其身は直に物頭を招いで、陣立の事を詳しく指圖するのであつた。

新刊紹介

▲大日本寫眞地理　第三版發行に當り改訂して關東地方奧羽地方本州中部近畿地方中國及び四國九州及び臺灣北海道樺太朝鮮支那に分ち其他產業と敎育の八部となし每輯各數十の名勝古跡知名建築物港灣等に和英兩文にて說明を附したり歷史地理を學ぶ者には此の上もなき好侶伴たるべし(一部七十錢東京市小石川區大塚窪町二四北刊行會)

▲新幼年(一の六)　暑くなつたので木陰も衣替へをしました金魚賣昔イ海虫ノイロイロ蛙ノオ國クモセミ其の外イサマシイ御話があります(十二錢東京市本所區横網町一の五共社)

▲寫眞タイムス(九三)　上野の花、霧島の花見演習宮の觀櫻御宴日比谷公園の國際會に行く祭を惜むべく早大體上運動會スミス氏の空中飛技目黑の競馬歐洲大戰亂戰時の英國婦人等は皆興味を覺すべく長谷川泰氏の御體險書式沙翁三百年祭新聯隊旗七旗の親授等は記念とすべし其他十數の寫眞含む(二十五錢東京市京橋區新肴町一八明治圖版所)

▲婦人世界(一一の六)　良妻賢母たらんとする婦女は讀むべし要するに內容豐富にして家庭の趣味實用を旨とせり(十七錢東京市京橋區南紺屋町一二實業之日本社)

▲少女(六月號)　何と目つても少女雜誌界の白眉なり本誌愛讀の少女諸嬢は嬉しいそして餘の様な娘さんになるべし(十六錢大阪市北區曾根崎上四の二三三大阪時事新報社)

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版 亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も鮮明に迅速と可成親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社 寫眞製版部

商況
大阪株式特電
京阪電氣 和歌山紡 合同紡績 鐘淵紡績
一七二、〇 七四、〇
大阪三品
[illegible]
仁川米豆取引所
[illegible]
▲目先小相場乎
[illegible]

◎石炭を窃取す　龍山青葉町 鄭在吉(二十)は昨年十一月以降本年五[illegible]

歡迎新設聯隊
平壤大和町
㊊江口支店
電話六二 電略(エ) 振替京城一一九番

歡迎新設聯隊
煉瓦土管製造販賣
平壤黃金町(電話二三六番)
稻葉組
始政五年共進會に於て銀牌を受領す

歡迎新設聯隊
平壤東町
森山與三一
田中福太郎
三輪孫太郎

歡迎新設聯隊
漢城銀行平壤支店
電話五九番

歡迎新設聯隊
平壤南門町一丁目
丁子屋洋服部
電話長二七番 振替京城三五三番
鎭南浦龍井洞扶桑館內
出張所 丁子屋洋服部
(出張日毎月廿二日より廿五日迄) 電話一五九番

歡迎新設聯隊
和洋紙問屋 活版石版印刷業 軍需品寫眞製版 堀井謄寫版御道具 村井製複寫紙特約店
平安南道報發行所 平安南道敎育會報印刷所 在鄉軍人會報印刷所
朝鮮平壤旭町
奧田洋行
電話長一二五番 振替貯金京城二四三番 電信略號(オ)又ハ(オク)

歡迎新設聯隊
片倉組平壤支店
平壤山手町電話一四五番

歡迎新設聯隊
平壤櫻町
上谷商會工務部
電話長六〇三番

歡迎新設聯隊
株式會社 平壤魚市場

歡迎新設聯隊
平壤賑町組合

歡迎新設聯隊
劵番組合
大同館
喜樂館
七星館
壽

歡迎新設聯隊
平壤電氣會社

歡迎新設聯隊
京城日報販賣店 大阪朝日大阪每日大取次店 丸山牛乳販賣店
丸山新聞店
丸山利平
平壤柳町(電話二二四番)

歡迎新設聯隊
京城日報販賣店 大阪東京諸新聞大取次所 各地諸紙、帳簿、文具、圖書、雜誌、繪ハガキ
田中新聞店
田中榮太郎商店
平壤大和町 電話二八番 振替京城二四〇九番

歡迎新設聯隊
平安農工銀行

歡迎新設聯隊
料理屋組合
櫻町 櫻軒
櫻町 いくよ
櫻町 山峰
櫻町 第二七星館
壽町 大翠亭
壽町 赤かべ
大和町 一樂

歡迎新設聯隊
氷清涼販賣 貯水製氷 醸造業
平壤櫻町瑞氣通
田中菊太郎
電話六一〇番

歡迎新設聯隊
平壤旭町
遠藤洋服店
電話三三三番

歡迎新設聯隊
平壤
旅館組合

故村谷吉藏葬送の際は遠路御會葬に預り難有厚く御禮申上候混雜中く御名伺漏有之候も難計不取敢以紙上御厚禮申上候

男 村谷正夫
親族總代 村谷勘一
田邊佐助
友人總代 高杉昇

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大正丸 五月 日後四時出帆
○大有丸 五月廿六日後四時出帆
○神代丸 五月二十日後四時出帆
○秀吉丸 五月廿三日後四時出帆
○君が代丸 五月 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○立神丸 門司、神戶、大阪行 五月廿三日後五時出帆
○立神丸 元山、淸津、浦鹽行 五月 日後十時出帆
○小倉丸 門司、神戶、大阪行 五月 日後五時出帆
○小倉丸 元山、城津、浦鹽行 五月十八日後十時出帆
○第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、淸津行 五月 日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 五月 日後六時出帆
○天眞丸 住須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日九日十四日廿一日廿六日(午後十時出帆)
釜山埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第十六共同丸 五月 日入港 五月 日前九時出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同樣運賃にて通し輸送御取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 (元山出帆) 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町二丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 春日町(電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番 二一三二番
鐵道會社及社外船と荷客連帶輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成度候
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一一七〇番)
○全羅丸 五月廿二日 ○京畿丸 六月四日 ○黃海丸 五月十九日 ○成鏡丸 五月廿六日 門司より釜山各港寄港雄基間航路 釜山發
○穩城丸 五月廿三日 ○昌平丸 五月廿二日 ○鏡城丸 五月十七日 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠淸丸 五月三十日 ○平壤丸 五月廿二日 城津淸津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 北久味、五里浦行 每月廿八回 元山發
○盈德丸 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 五月廿三日 釜山發
○江陵丸 ○寶陽丸 長生浦方魚津寄港 每日 釜山浦項發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 五月十七日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 各港經由麗水行 每日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 三日目每ニ(三日目一回木浦行) 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 五月 日 木浦發
○公州丸 南多島海列島行(月三回) 五月二十日 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行(東廻) 五月廿二日 木浦發
○宗信丸 海州龍塘浦、德洞又は內劍島行 五月二十日 仁川發
○江原丸 青島、大連、芝罘行 五月十八日 仁川發
○漢水丸 ○晋州丸 各港經由木浦行 五月廿二日 五月廿六日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 每日午前 仁川發
○平安丸 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行 五月廿七日 五月廿一日 群山發 若松發